

クロス集計結果
(学生・生徒)

(目次)

表1	大学・短大・高専（大学院含む）生×将来働きたい場所	5
表2	大学・短大・高専（大学院含む）生×充実させてほしいもの	6
表3	中学生×理想の結婚年齢	7
表4	大学・短大・高専（大学院含む）生×理想の結婚年齢	8
表5	熊本市在住×理想の結婚年齢	9
表6	大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に対するイメージ	10
表7	結婚してこどもは持たず、仕事を続ける×結婚に対するイメージ	11
表8	結婚希望なし×結婚に対するイメージ	12
表9	大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に繋がるきっかけ	13
表10	大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に繋がる出会いのシーン	14
表11	熊本市在住×結婚に繋がる出会いのシーン	15
表12	男性or女性×希望するライフスタイル	16
表13	大学・短大・高専（大学院含む）生×子育てに対するイメージ	17
表14	結婚してこどもは持たず、仕事を続ける×子育てに対するイメージ	18
表15	結婚希望なし×子育てに対するイメージ	19
表16	大学・短大・高専（大学院含む）生×必要な子育て支援	20
表17	大学・短大・高専（大学院含む）生×働きながら産み育てていくための支援	21
表18	中学生×教育環境の充実に必要な支援	22
表19	大学・短大・高専（大学院含む）生×教育環境の充実に必要な支援	23
表20	大学・短大・高専（大学院含む）生×不便さを感じる交通機関	24
表21	熊本市在住×不便さを感じる交通機関	25
表22	結婚希望なし×理想のこどもの人数	26
表23	大学・短大・高専（大学院含む）生×理想のこどもの人数より少ない理由	27
表24	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×子育てに対するイメージ	28

(目次)	表25	女性×熊本市在住×子育てに対するイメージ	29
	表26	男性or女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×必要な子育て支援	30
	表27	女性×熊本市在住×必要な子育て支援	31
	表28	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×働きながら産み育てていくために必要な支援	32
	表29	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×教育環境の充実に必要な支援	33
	表30	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×不便さを感じる交通機関	34
	表31	女性×熊本市在住×不便さを感じる交通機関	35
	表32	男性or女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×将来働きたい場所	36
	表33	女性×中学生×充実させてほしいもの	37
	表34	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×充実させてほしいもの	38
	表35	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×熊本県内就労希望×充実させてほしいもの	39
	表36	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×就労希望場所不明×充実させてほしいもの	40
	表37	女性×熊本県内就労希望×充実させてほしいもの	41
	表38	女性×中学生×理想の結婚年齢	42
	表39	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×理想の結婚年齢	43
	表40	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に対するイメージ	44
	表41	男性×将来結婚して子どもを持ち、仕事を続ける×結婚に対するイメージ	45
	表42	女性×希望するライフスタイル×結婚に対するイメージ①	46
	表43	女性×希望するライフスタイル×結婚に対するイメージ②	47
	表44	男性×結婚希望ありor希望なし、女性×結婚希望ありor希望なし×結婚に対するイメージ	48
	表45	女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に繋がる出会いのシーン	50
	表46	女性×熊本市在住×結婚に繋がる出会いのシーン	51
	表47	女性×高校生×希望するライフスタイル	52

本報告書では、「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査集計結果報告書について、クロス集計によりさらに細かく分析を行った。

クロス集計結果と「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査集計結果報告書(単純集計:以降「全体」)とを比較し、10ポイント以上の差が見られた項目について、サンプルボリュームが明らかに小さいものを除き本報告書としてまとめた。また、分析に当たっては、クロス集計項目ごとに調査票の全ての質問に対してクロス集計を行っているが、本報告書では、クロス集計結果のうち、 χ^2 乗検定の下で有意水準0.1%で有意な差が認められた項目を掲載している。

χ^2 乗検定

χ^2 乗検定とは、観測値と期待値のずれを測るための統計量である χ^2 乗値を用い、クロス集計表の2つの変数が関連を調べる検定方法のことである。本報告書では、 χ^2 乗検定の結果得られた検定統計量p値が0.001未満であれば、有意水準0.1%で統計学的に有意な差が認められると判断する。

表1 大学・短大・高専（大学院含む）生×将来働きたい場所

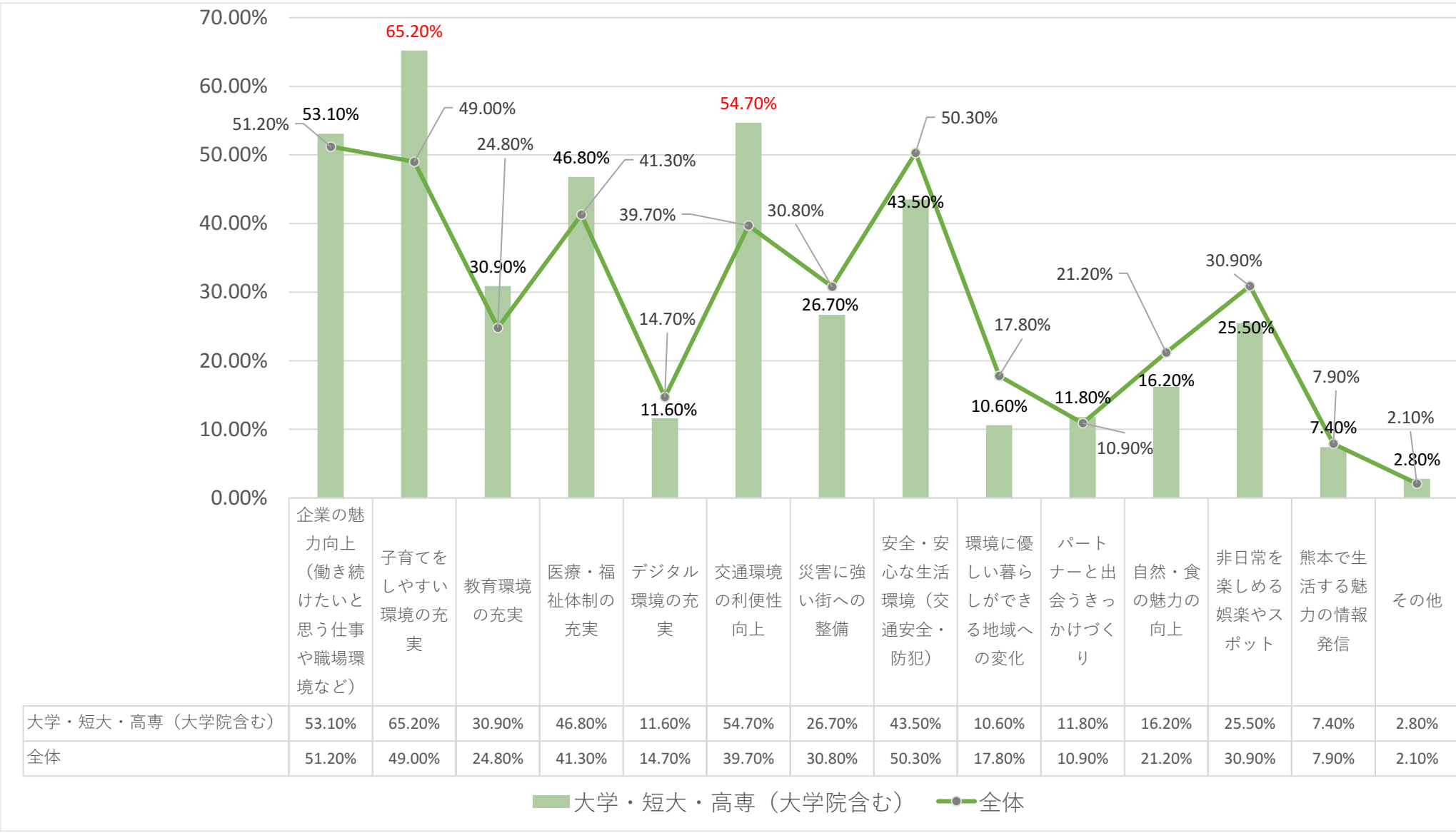
熊本県内の学校に進学した大学・短大・高専（大学院含む）生が将来働きたい場所は、全体の回答と比較して「熊本県内」が多い傾向。



Q3学歴×Q6将来働きたい場所（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=156.1$ 自由度=12 $p<0.001$

表2 大学・短大・高専（大学院含む）生×充実させてほしいもの

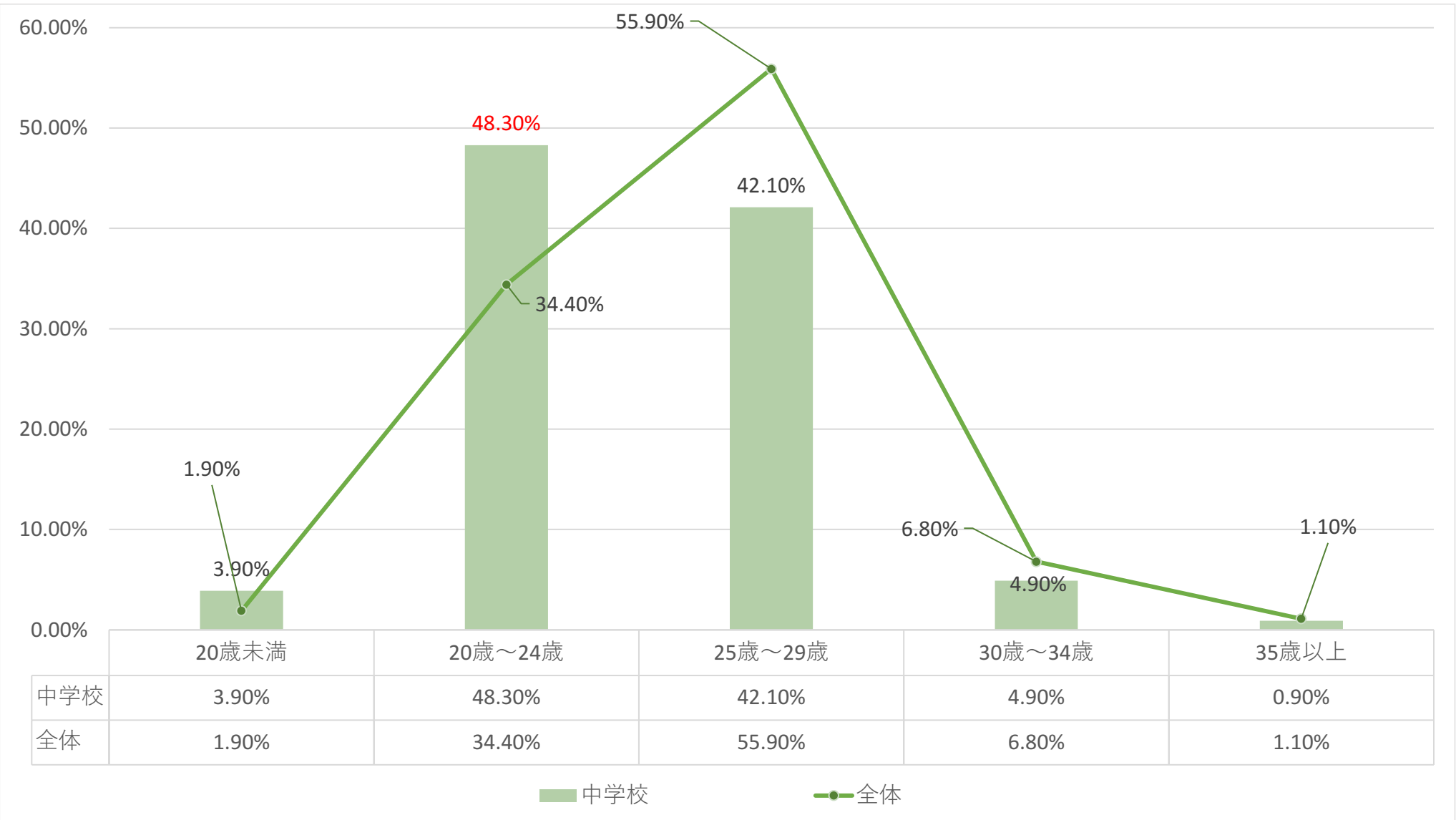
大学・短大・高専（大学院含む）生は、充実させてほしいものとして「子育てをしやすい環境の充実」「交通環境の利便性向上」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q3学歴×Q8充実させてほしいもの「子育てをしやすい環境の充実」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=130.0$ 自由度=2 $p<0.001$
 Q3学歴×Q8充実させてほしいもの「交通環境の利便性向上」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=35.1$ 自由度=2 $p<0.001$

表3 中学生×理想の結婚年齢

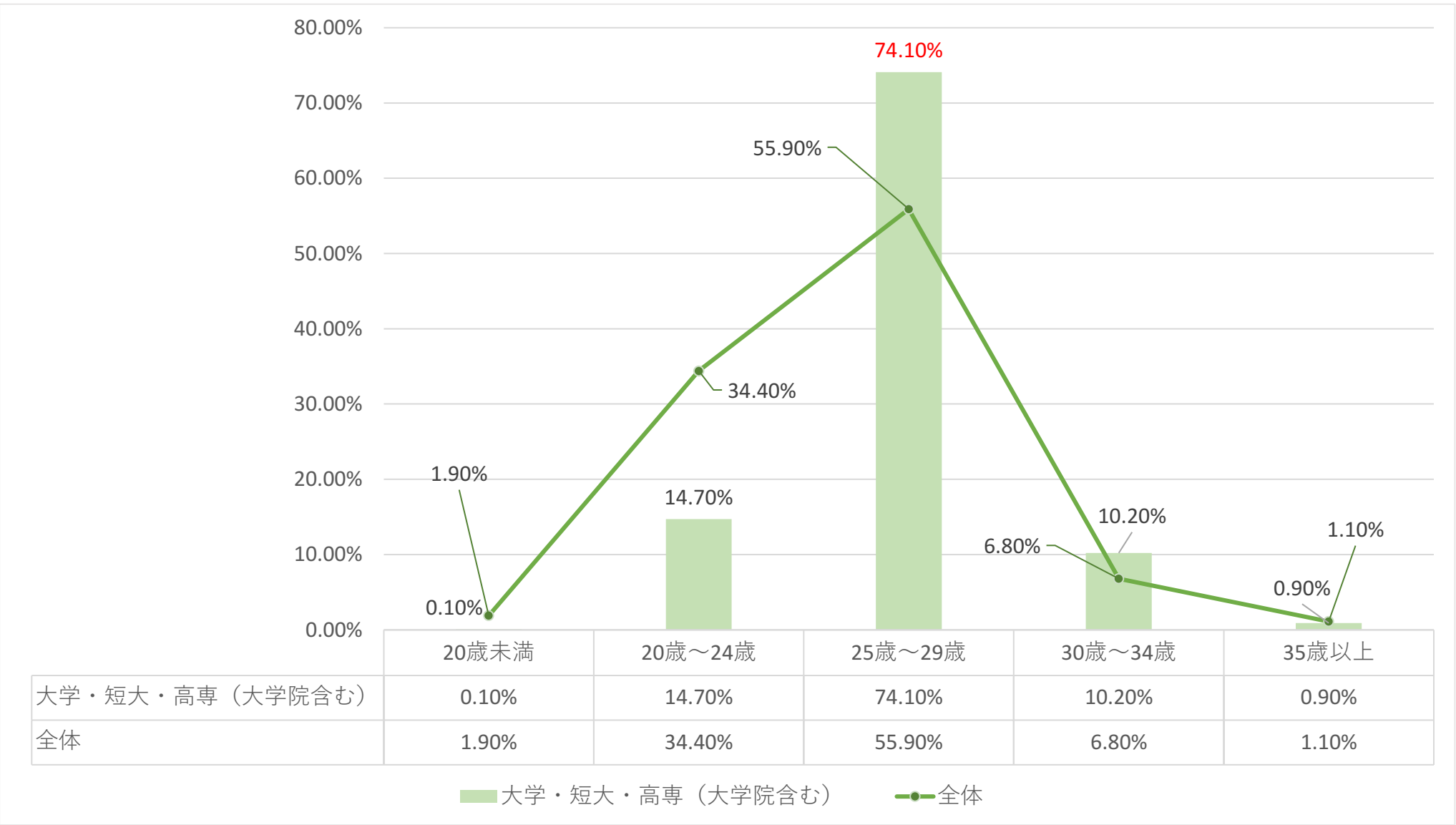
中学生は、理想の結婚年齢として「20歳～24歳」を最も多く回答し、全体の回答と比較しても「20歳～24歳」が多い傾向。



Q3学歴×Q12理想の結婚年齢（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=408.3$ 自由度=16 $p<0.001$

表4 大学・短大・高専（大学院含む）生×理想の結婚年齢

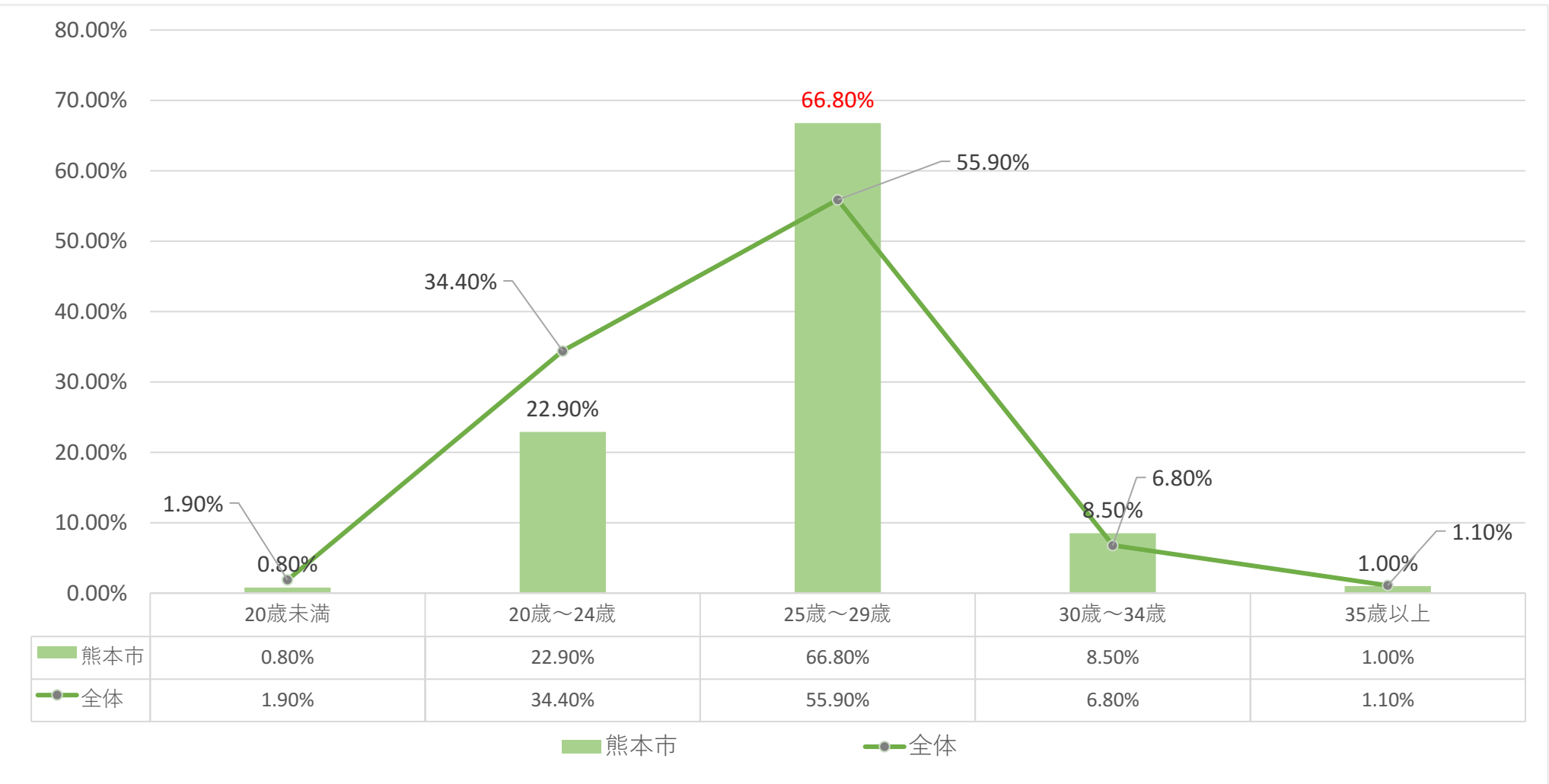
大学・短大・高専（大学院含む）生は、理想の結婚年齢として「25歳～29歳」を最も多く回答し、全体の回答と比較しても「25歳～29歳」が多い傾向。



Q3学歴×Q12理想の結婚年齢（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=408.3$ 自由度=16 $p<0.001$

表5 熊本市在住×理想の結婚年齢

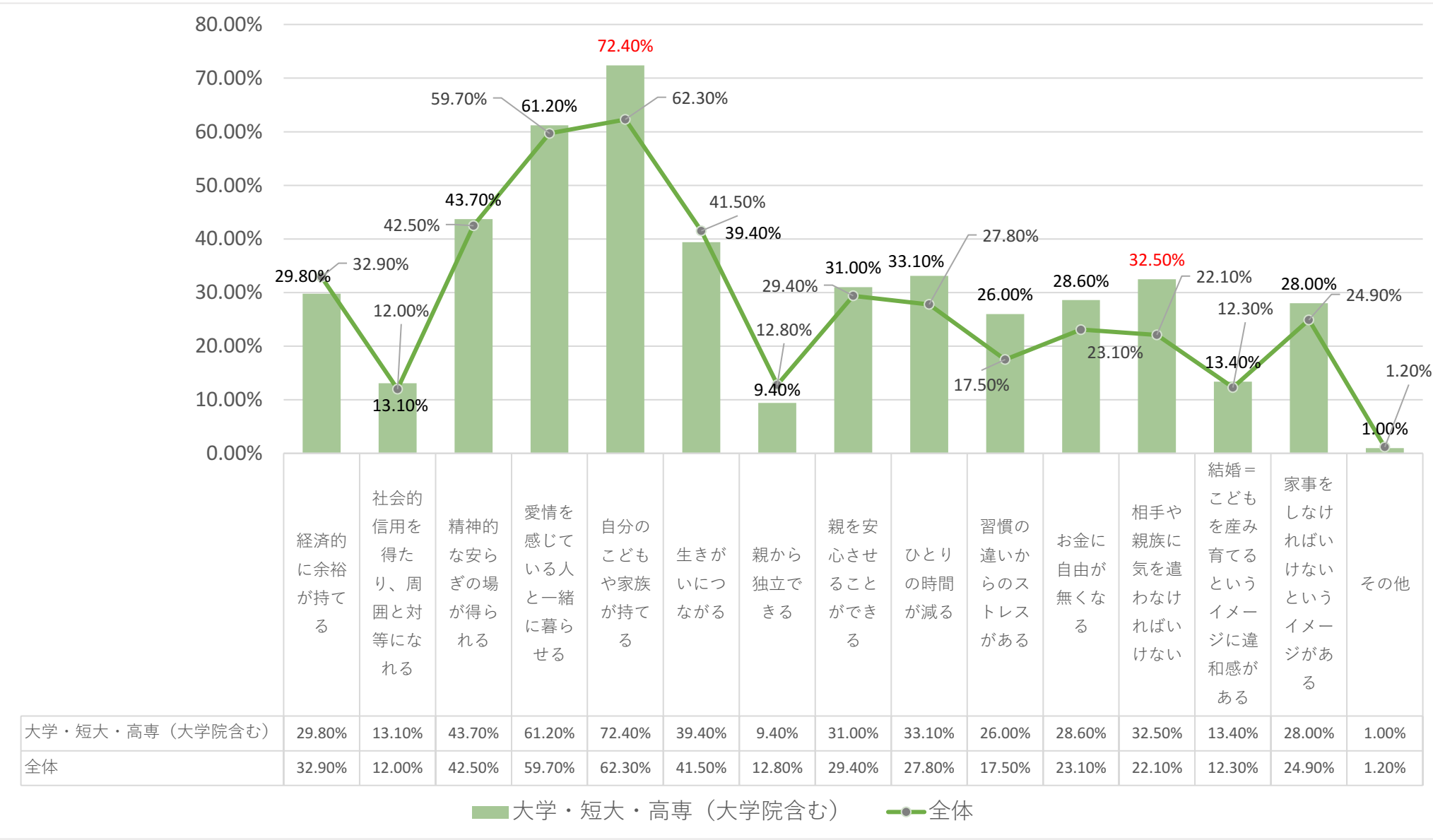
熊本市在住の人は、理想の結婚年齢として「25歳～29歳」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q4居住地域×Q12理想の結婚年齢（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=109.1$ 自由度=20 $p<0.001$

表6 大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に対するイメージ

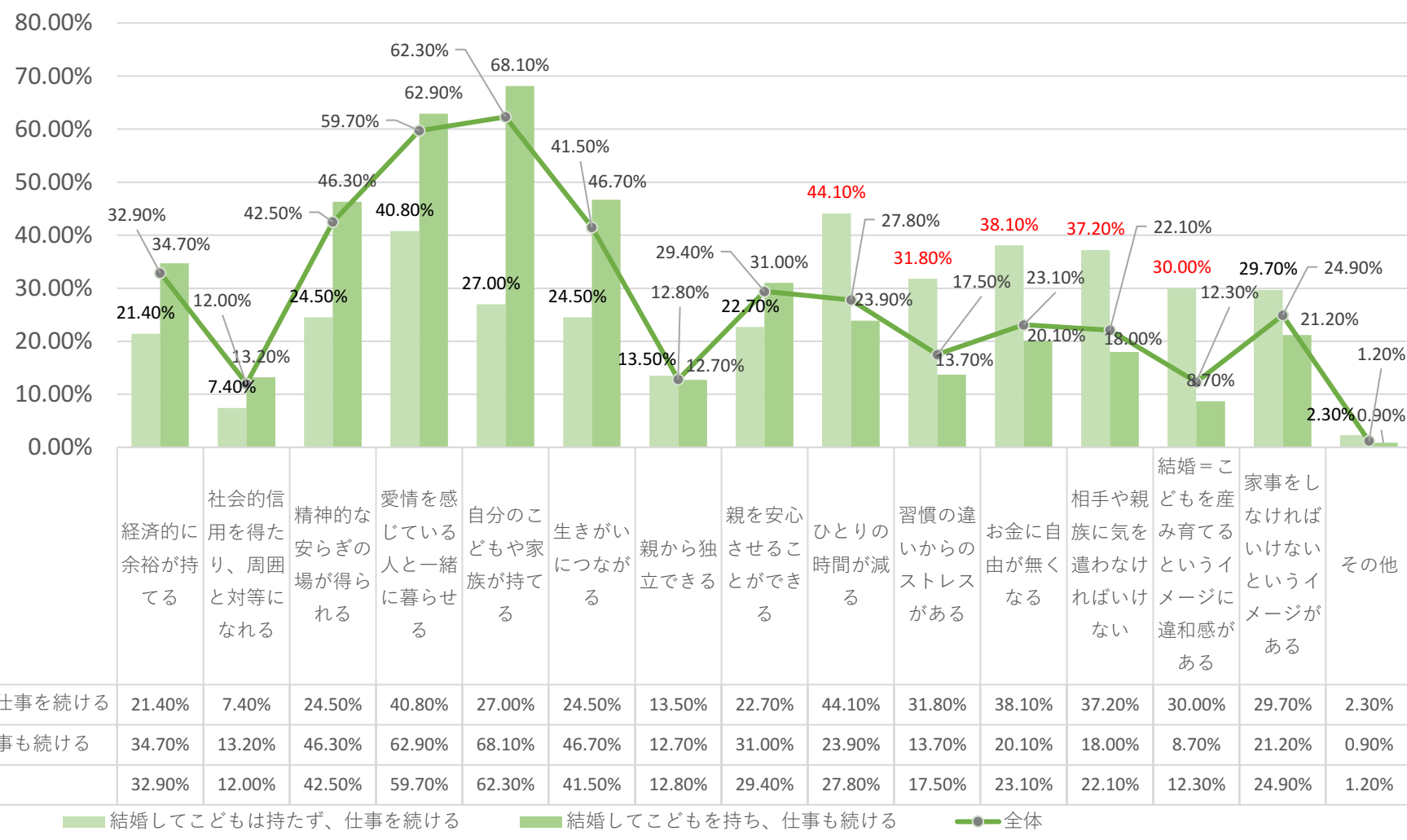
大学・短大・高専（大学院含む）生は、結婚に対するイメージとして「自分の子どもや家族が持てる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q3学歴×Q15結婚に対するイメージ「自分の子どもや家族が持てる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=48.4$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q3学歴×Q15結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=77.7$ 自由度=4 $p<0.001$

表7 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける×結婚に対するイメージ

結婚してこどもは持たず、仕事を続けることを希望している人は、結婚に対するイメージとして「ひとりの時間が減る」「習慣の違いからのストレスがある」「お金の自由が無くなる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」「結婚＝こどもを産み育てるというイメージに違和感がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



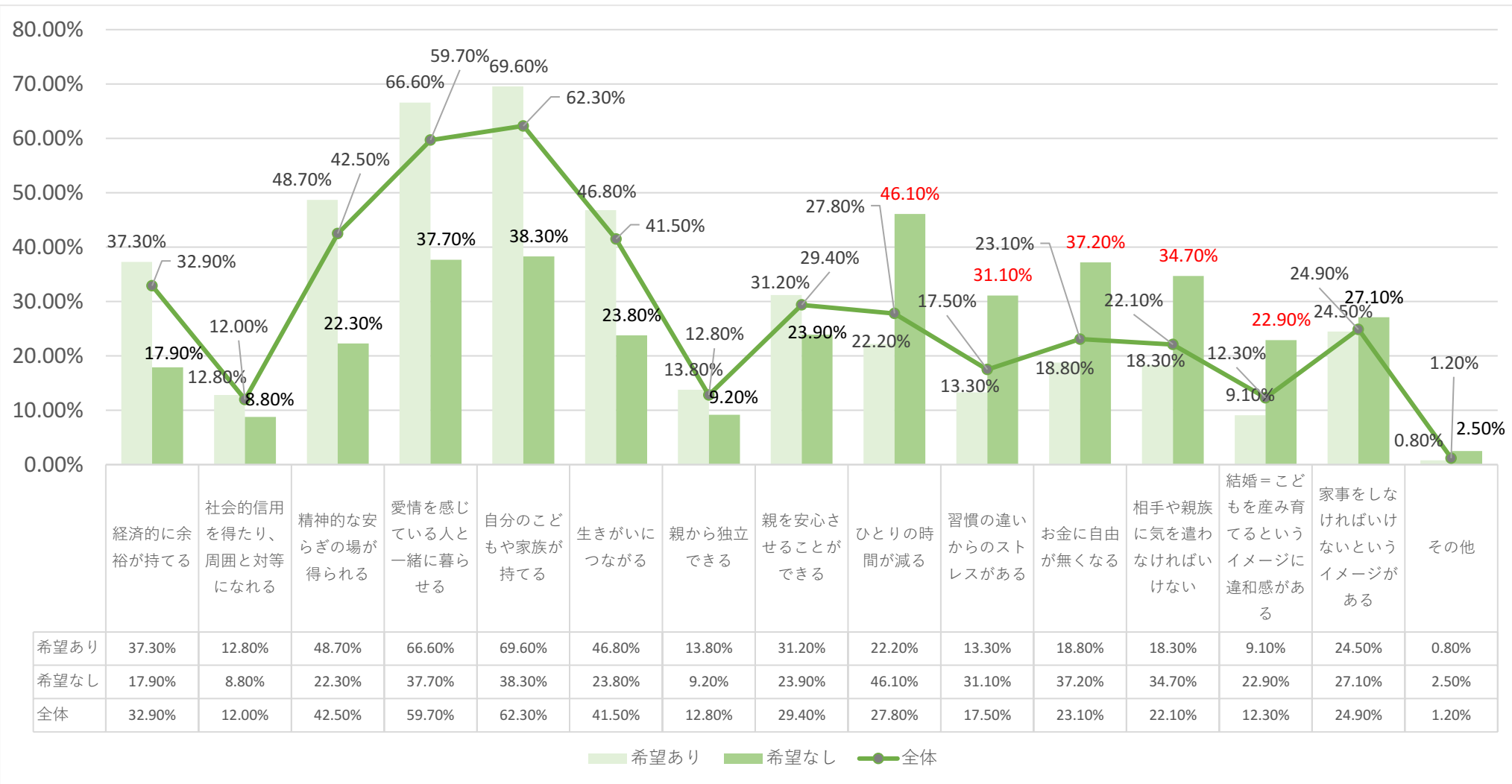
結婚してこどもは持たず、仕事を続ける	21.40%	7.40%	24.50%	40.80%	27.00%	24.50%	13.50%	22.70%	44.10%	31.80%	38.10%	37.20%	30.00%	29.70%	2.30%
結婚してこどもを持ち、仕事も続ける	34.70%	13.20%	46.30%	62.90%	68.10%	46.70%	12.70%	31.00%	23.90%	13.70%	20.10%	18.00%	8.70%	21.20%	0.90%
全体	32.90%	12.00%	42.50%	59.70%	62.30%	41.50%	12.80%	29.40%	27.80%	17.50%	23.10%	22.10%	12.30%	24.90%	1.20%

■ 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける ■ 結婚してこどもを持ち、仕事も続ける ● 全体

Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=91.8$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=105.3$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「お金の自由が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=85.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「結婚＝こどもを産み育てるというイメージに違和感がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=201.3$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=96.5$ 自由度=4 $p<0.001$

表8 結婚希望なし×結婚に対するイメージ

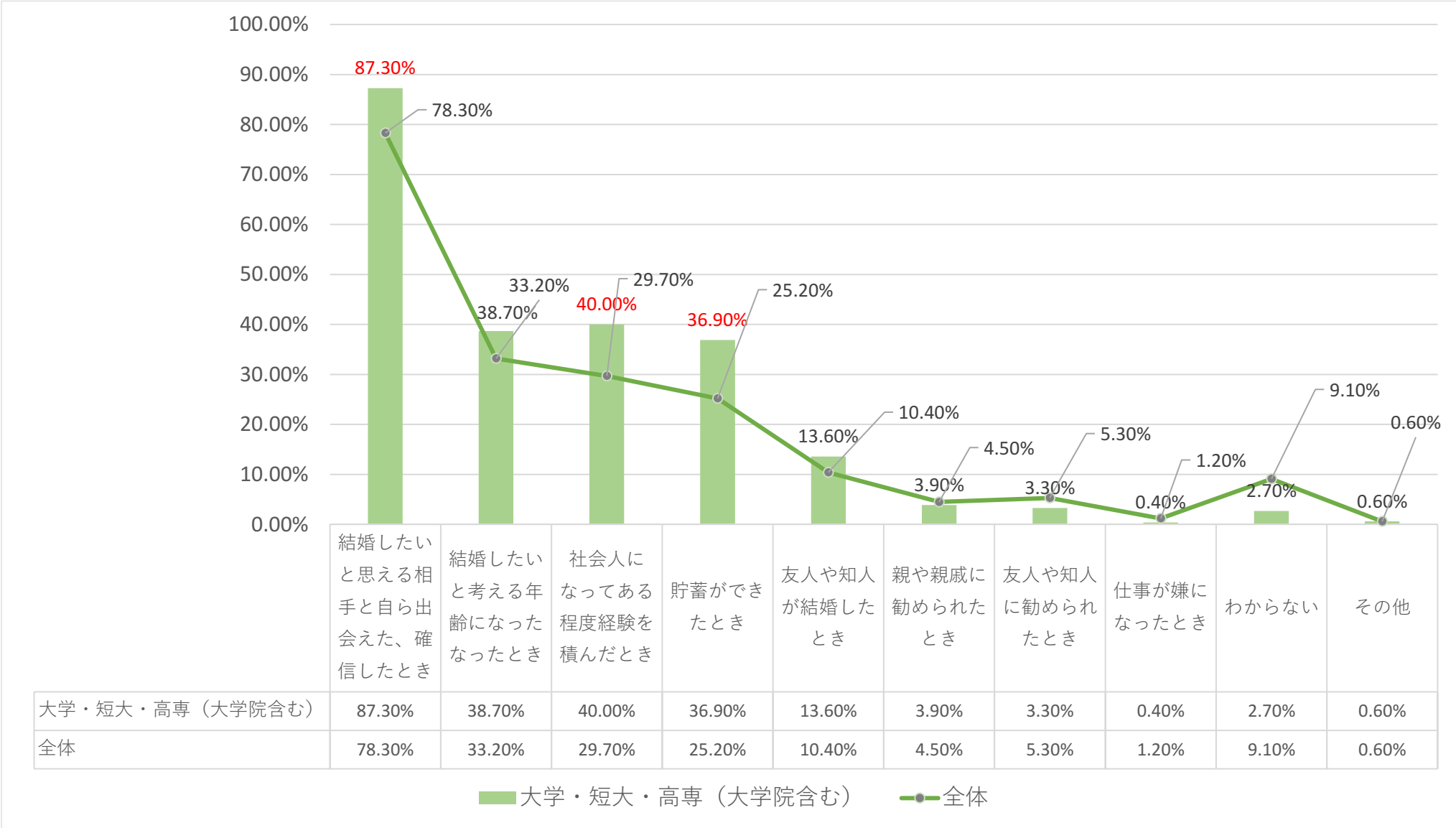
結婚を希望していない人は、結婚に対するイメージとして「ひとりの時間が減る」「習慣の違いからのストレスがある」「お金に自由が無くなる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」「結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=121.9$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=103.9$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「お金に自由が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=131.9$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=150.7$ 自由度=1 $p<0.001$
 Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=195.7$ 自由度=1 $p<0.001$

表9 大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に繋がるきっかけ

大学・短大・高専（大学院含む）生は「結婚に繋がると考えるきっかけやタイミングとして結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき」が最も多く、「社会人になってある程度経験を積んだとき」「貯蓄ができたとき」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



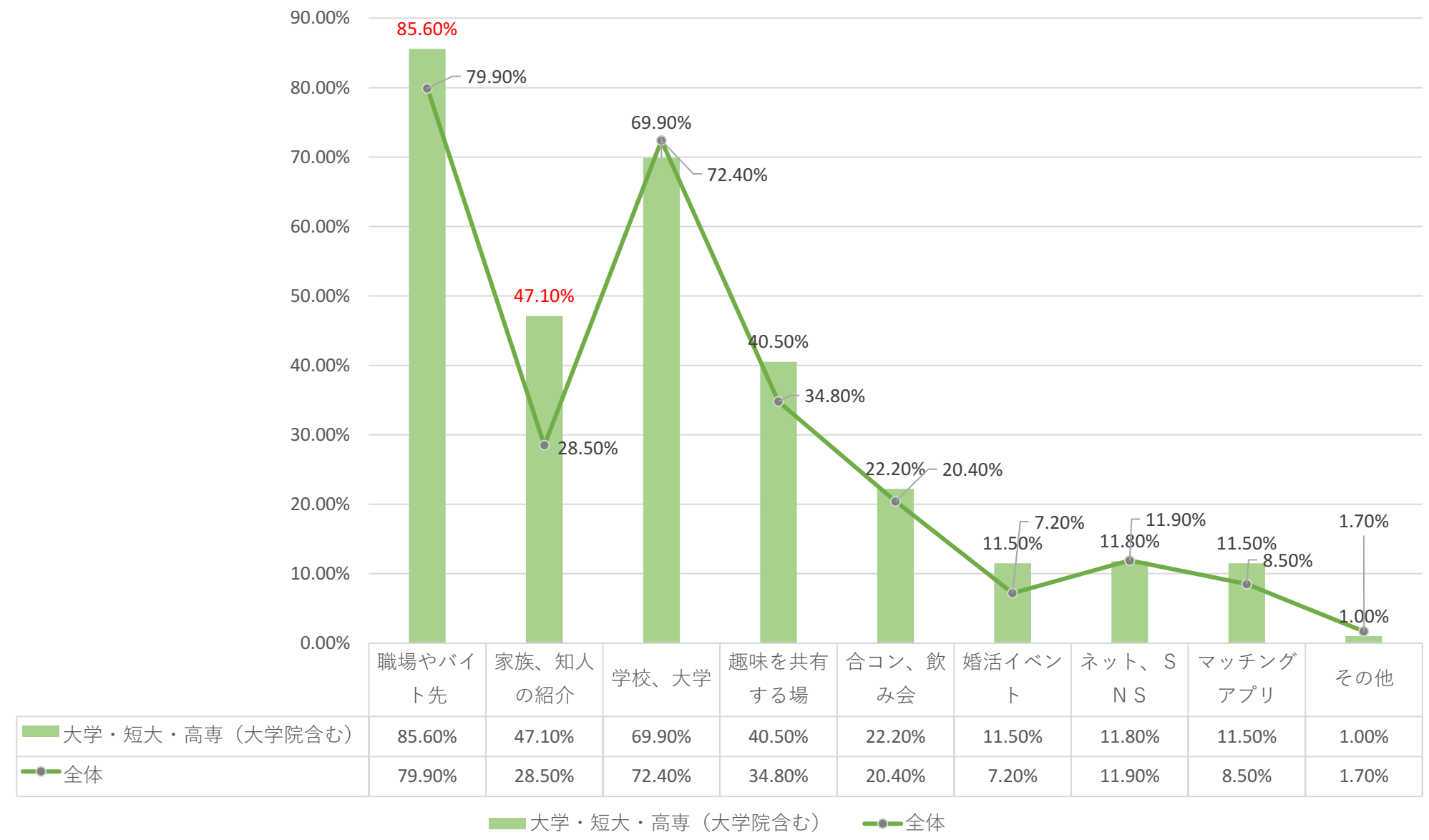
■ 大学・短大・高専（大学院含む） ● 全体

Q3学歴×Q16結婚に繋がるきっかけ「貯蓄ができたとき」 ※表は一部抜粋 $\chi^2=118.7$ 自由度=4 $p<0.001$

Q3学歴×Q16結婚に繋がるきっかけ「社会人になってある程度経験を積んだとき」 ※表は一部抜粋 $\chi^2=49$ 自由度=4 $p<0.001$

表10 大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に繋がる出会いのシーン

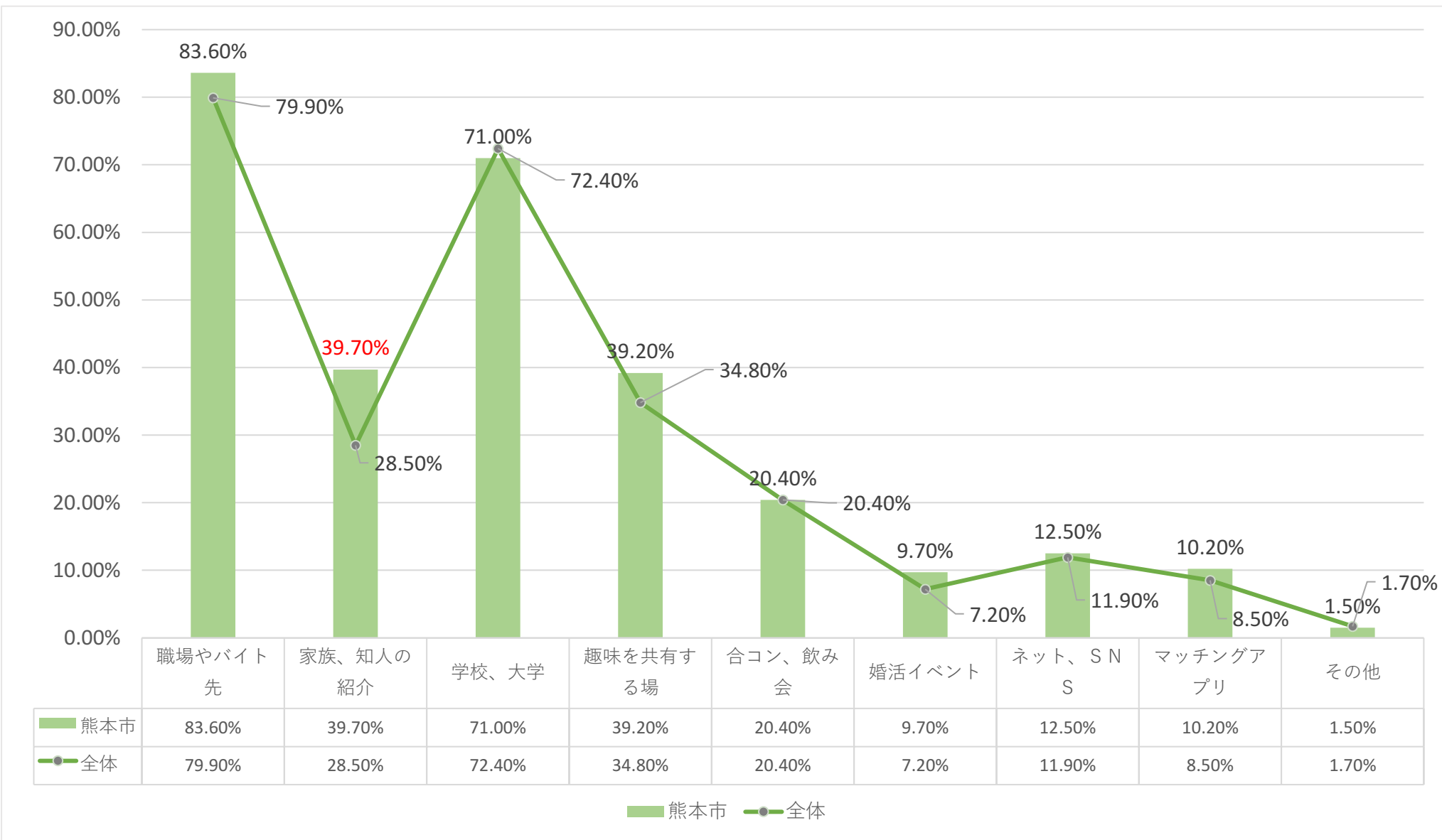
大学・短大・高専（大学院含む）生は、結婚に繋がると思う出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「家族、知人の紹介」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q3学歴×Q17結婚に繋がる出会いのシーン「家族、知人の紹介」（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=166.5$ 自由度=4 $p<0.001$

表11 熊本市在住×結婚に繋がる出会いのシーン

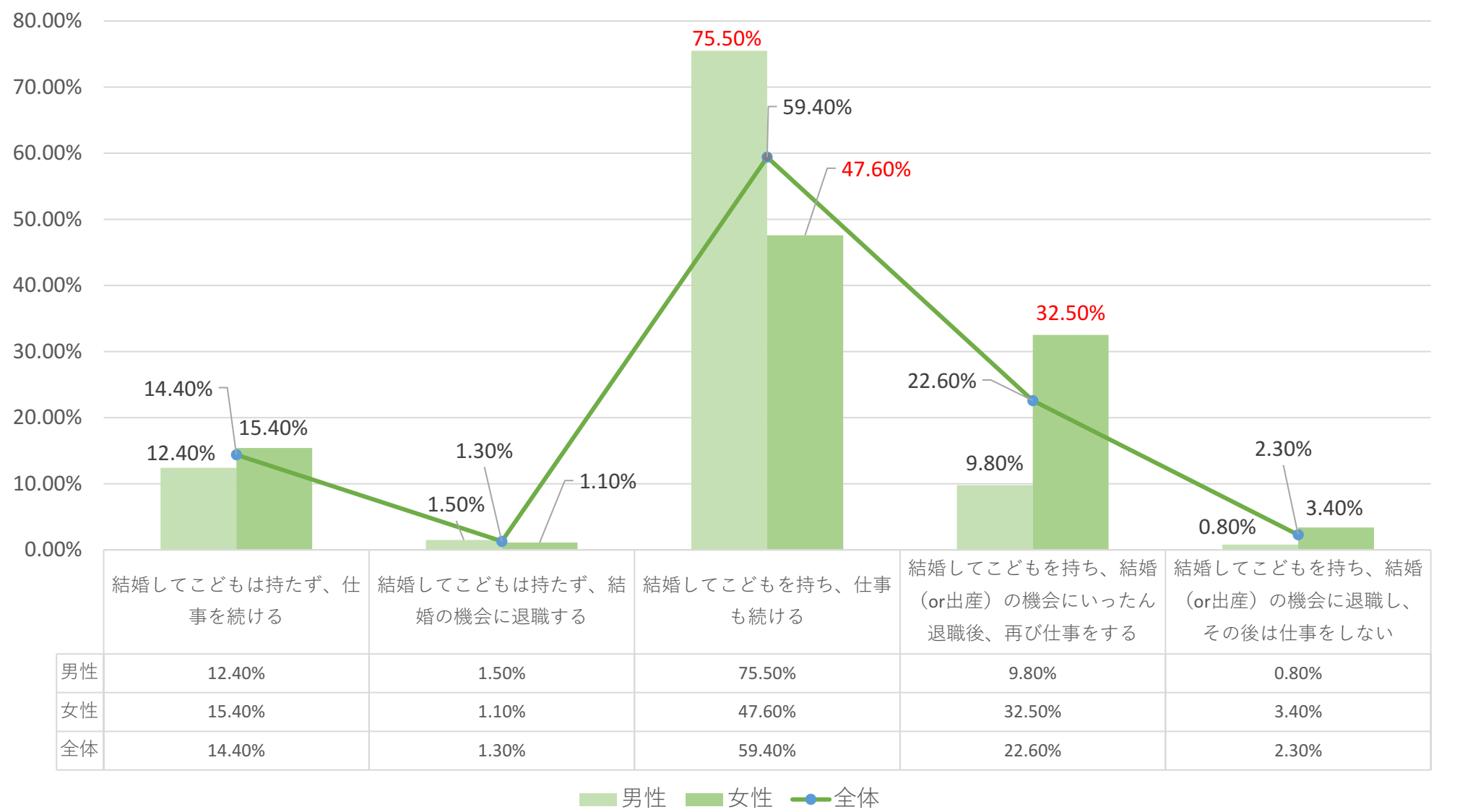
熊本市在住の人は、結婚に繋がると思う出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「家族、知人の紹介」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q4居住地域×Q17結婚に繋がる出会いのシーン「家族、知人の紹介」 (※表は一部抜粋)
 $\chi^2=70.5$ 自由度=5 $p<0.001$

表12 男性or女性×希望するライフスタイル

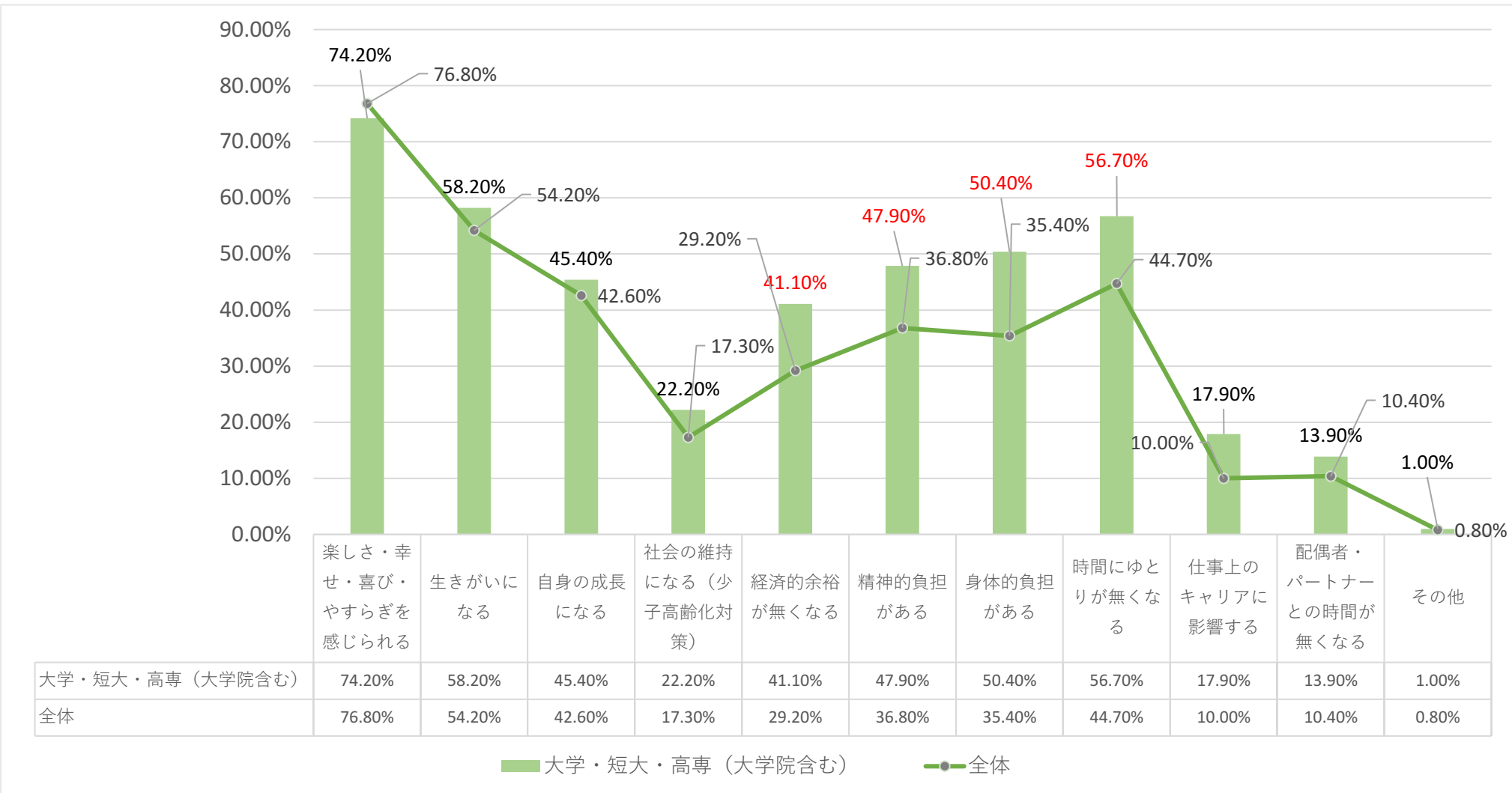
男女ともに、希望するライフスタイルとして「結婚して子どもを持ち、仕事も続ける」を最も多く回答し、男性は全体の回答と比較しても多い傾向。また、女性は「結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別×Q18希望するライフスタイル（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=403.3$ 自由度=8 $p<0.001$

表13 大学・短大・高専（大学院含む）生×子育てに対するイメージ

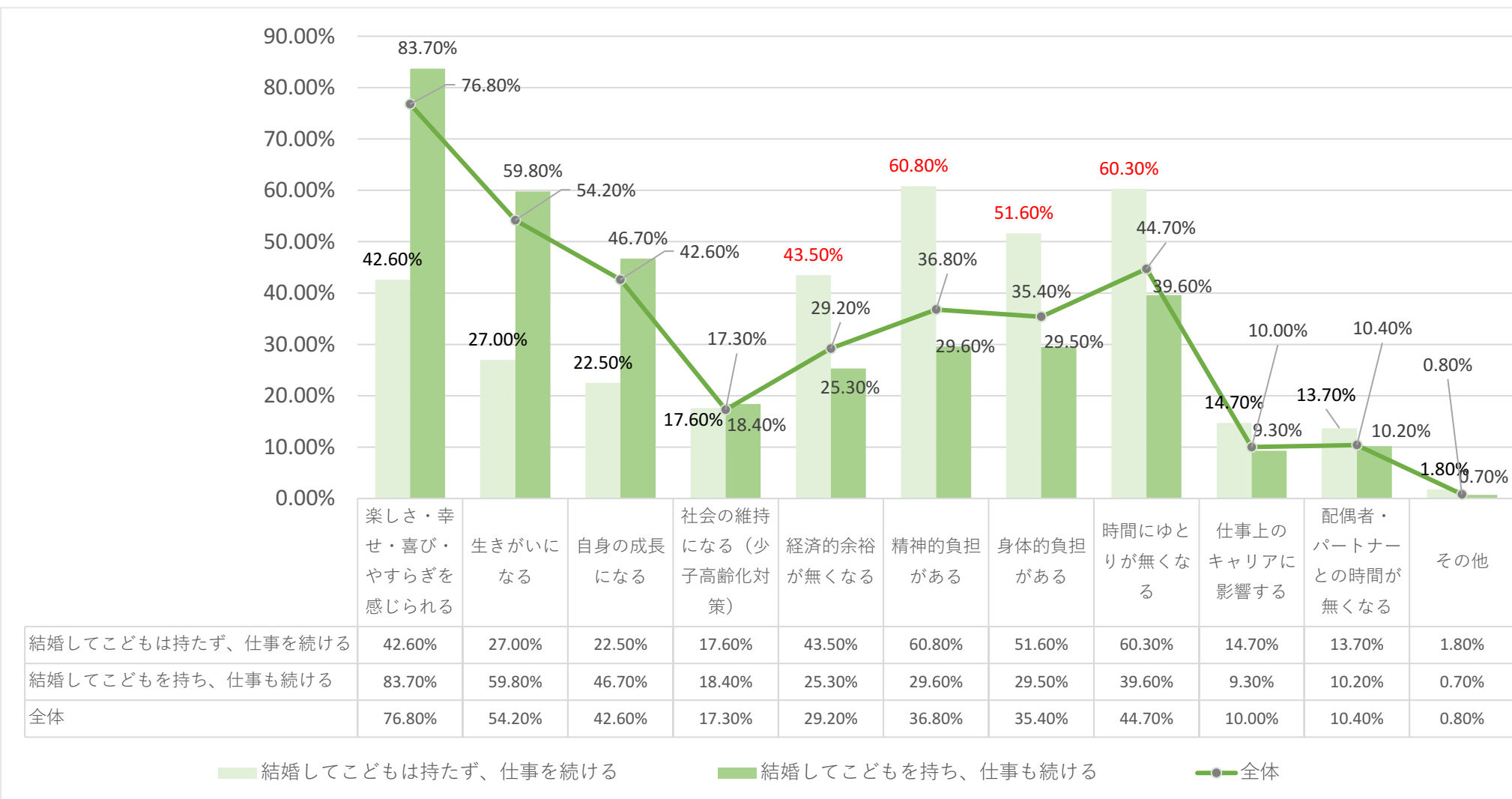
大学・短大・高専（大学院含む）生は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=105.9$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「精神的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=76.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「身体的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=124.1$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「時間にゆとりが無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=63.6$ 自由度=4 $p<0.001$

表14 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける×子育てに対するイメージ

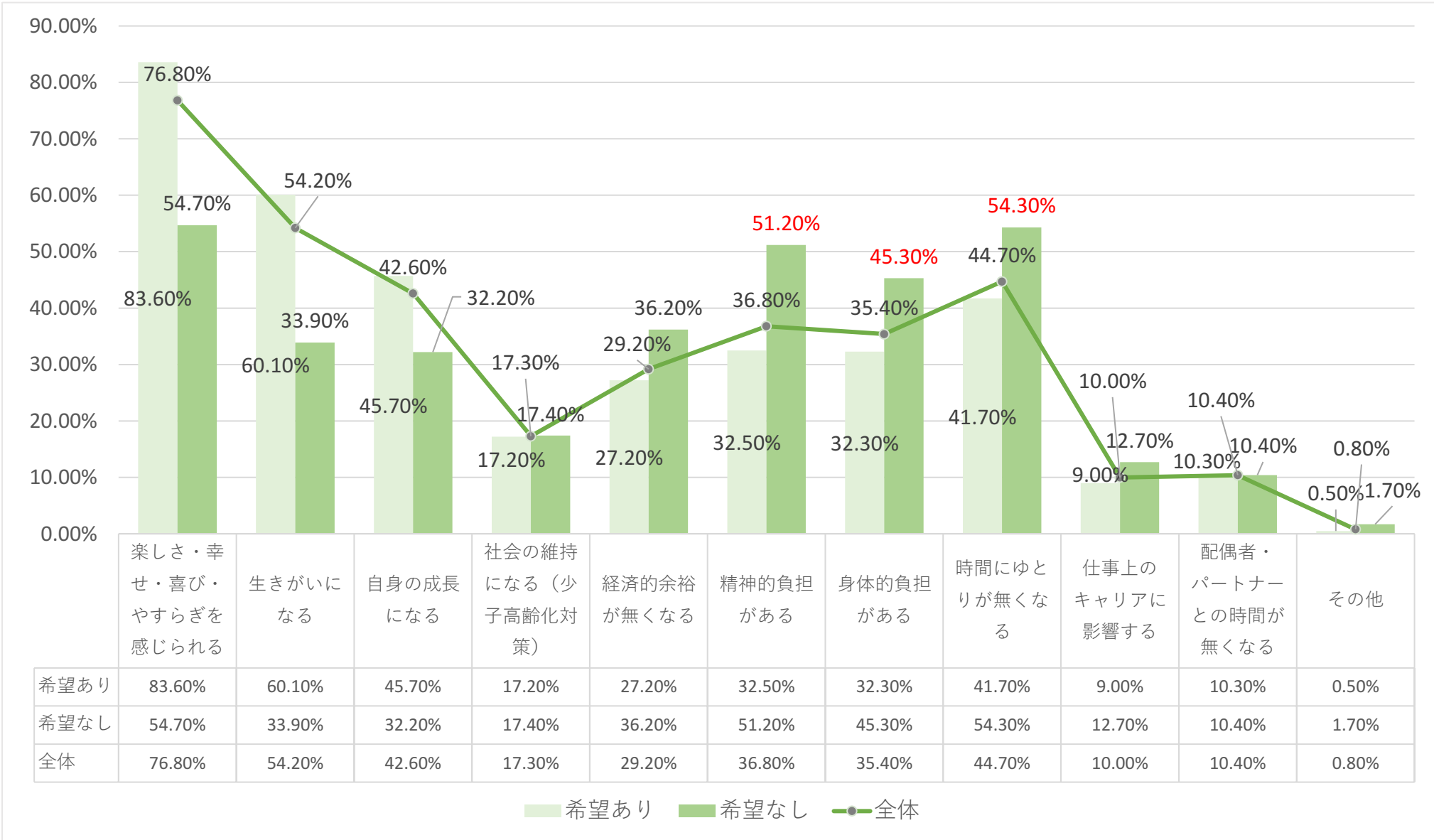
結婚してこどもは持たず、仕事を続けることを希望している人は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q18希望するライフスタイル×Q20子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=72.4$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q20子育てに対するイメージ「精神的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=192.4$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q20子育てに対するイメージ「身体的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=107.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q18希望するライフスタイル×Q20子育てに対するイメージ「時間にゆとりが無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=83.7$ 自由度=4 $p<0.001$

表15 結婚希望なし×子育てに対するイメージ

結婚を希望していない人は、子育てに対するイメージとして「経済的な余裕が無くなる」「精神的負担がある」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q10結婚希望×Q20子育てに対するイメージ（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=101.8$ 自由度=1 $p<0.001$

表16 大学・短大・高専（大学院含む）生×必要な子育て支援

大学・短大・高専（大学院含む）生は、必要な子育て支援として「保育・子育てサービスの充実」「配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

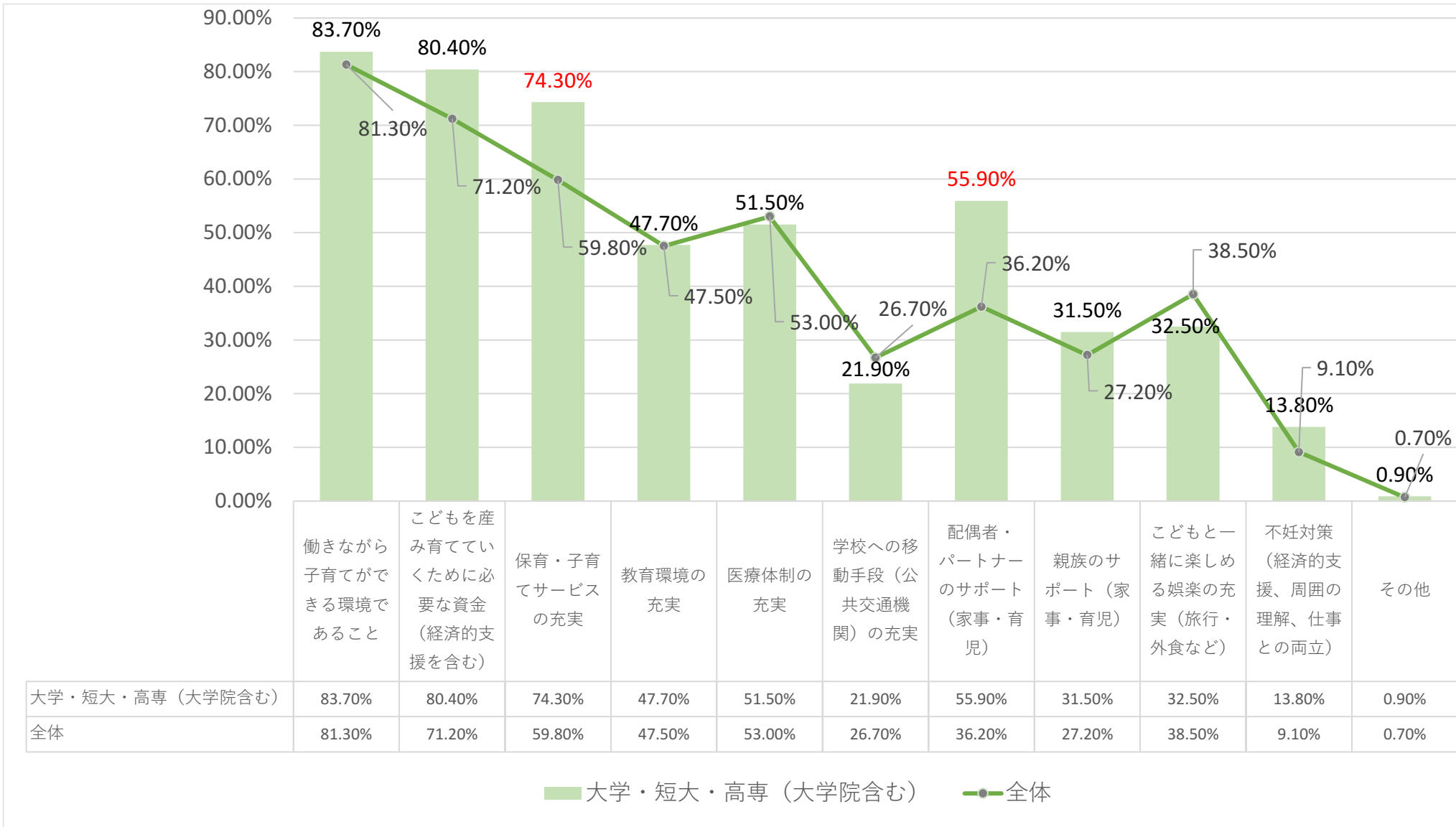
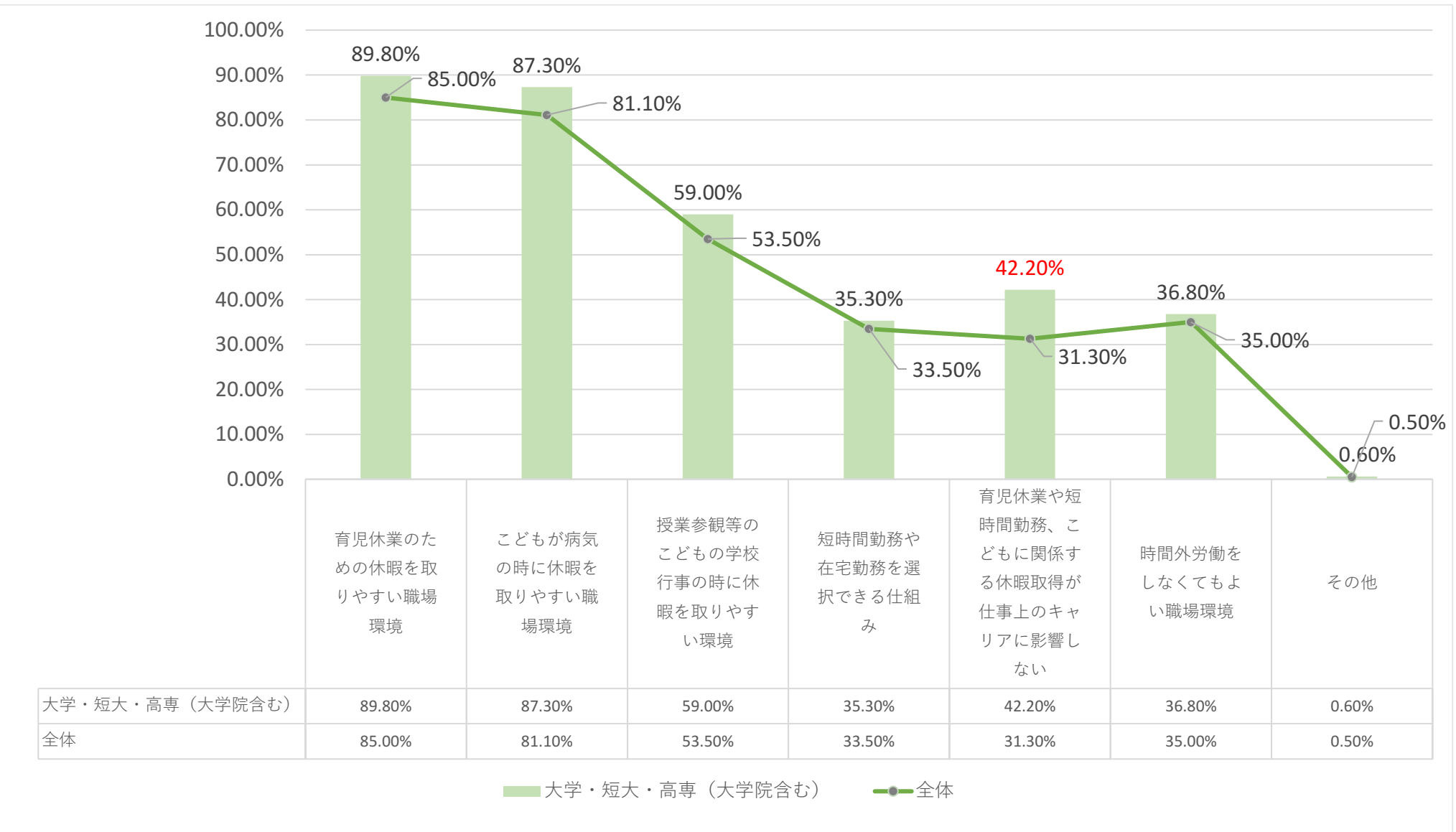


表17 大学・短大・高専（大学院含む）生×働きながら子どもを産み育てていくための支援

大学・短大・高専（大学院含む）生は、働きながら子どもを産み育てていくための支援として「育児休業や短時間勤務、子どもに関する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q3学歴×Q22必要な環境支援「育児休業や短時間勤務、子どもに関する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない」（※表は一部抜粋）

$\chi^2=54.4$ 自由度=4 $p<0.001$

表18 中学生×教育環境の充実に必要な支援

中学生は、子どもを産み育てていくために必要な教育環境関連の支援として「学習塾などの教育に要する費用への支援」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

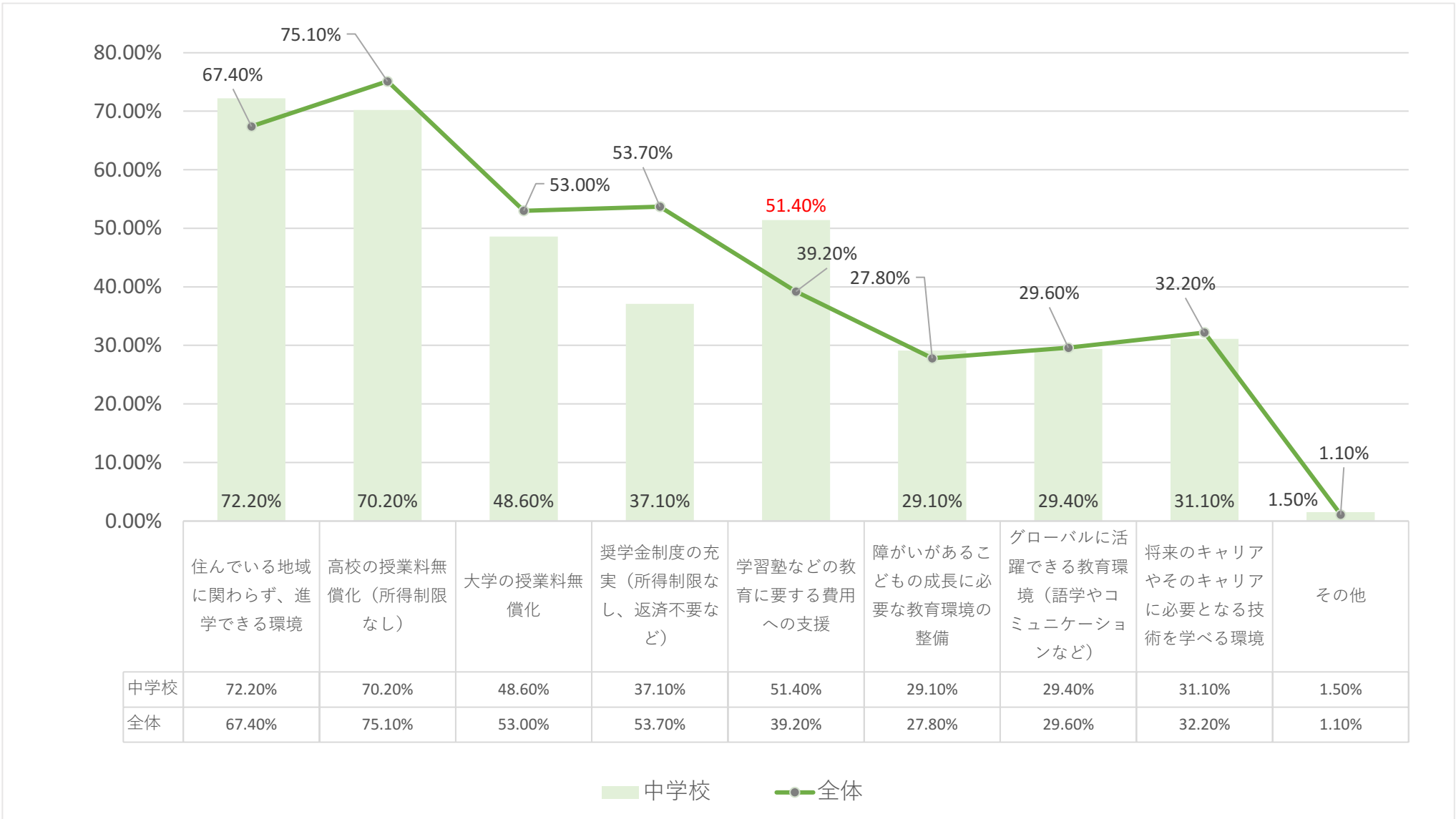
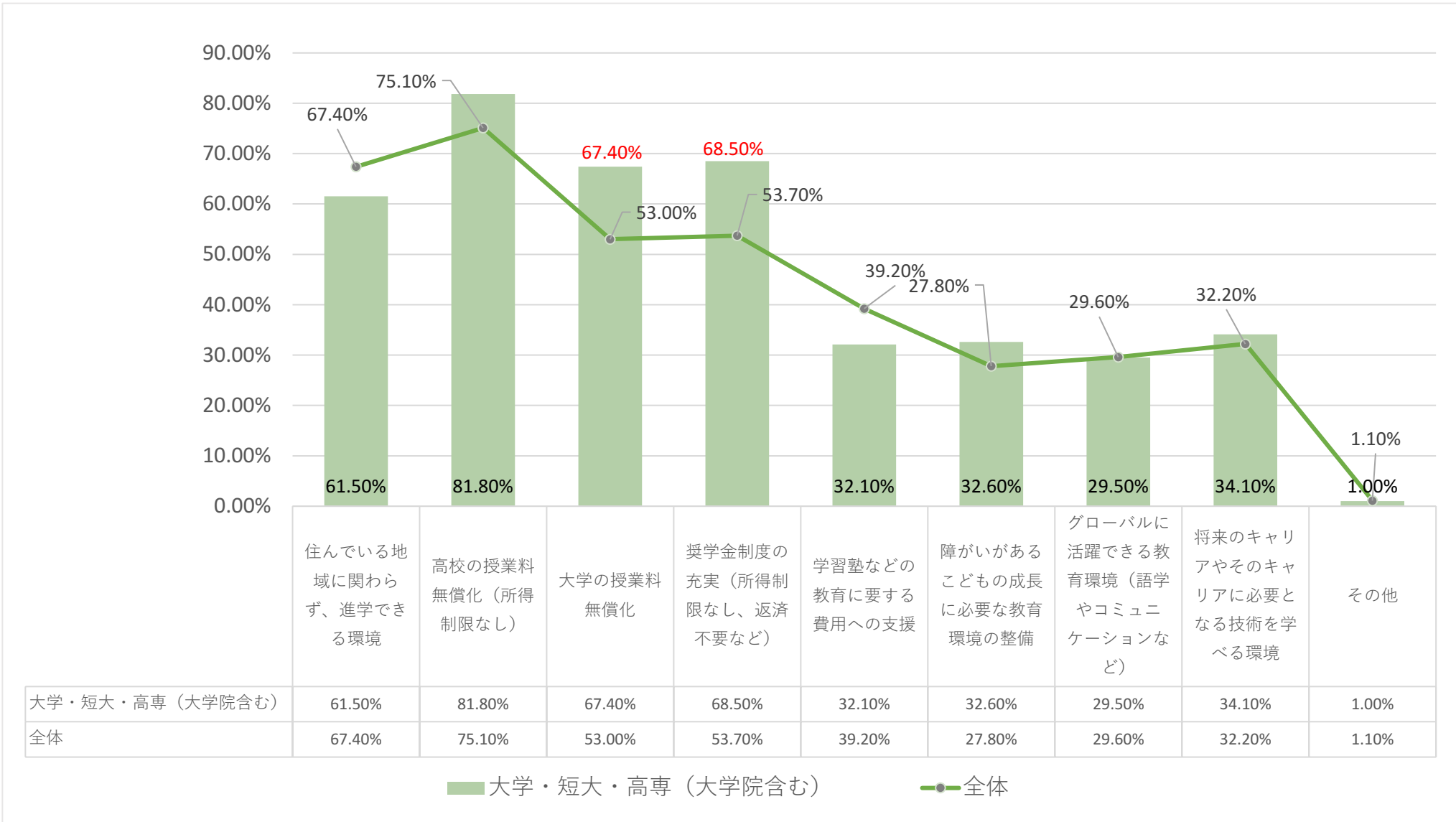


表19 大学・短大・高専（大学院含む）生×教育環境の充実に必要な支援

大学・短大・高専（大学院含む）生は、こどもを産み育てていくために必要な教育環境関連の支援として「大学の授業料無償化」「奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q3学歴×Q25教育環境の充実に必要な支援「大学の授業料無償化」（※表は一部抜粋） $\chi^2=49.1$ 自由度=4 $p<0.001$

Q3学歴×Q25教育環境の充実に必要な支援「奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）」（※表は一部抜粋） $\chi^2=87.6$ 自由度=4 $p<0.001$

表20 大学・短大・高専（大学院含む）生×不便さを感じる交通機関

大学・短大・高専（大学院含む）生は不便さを感じる交通機関として「バス」「市電」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

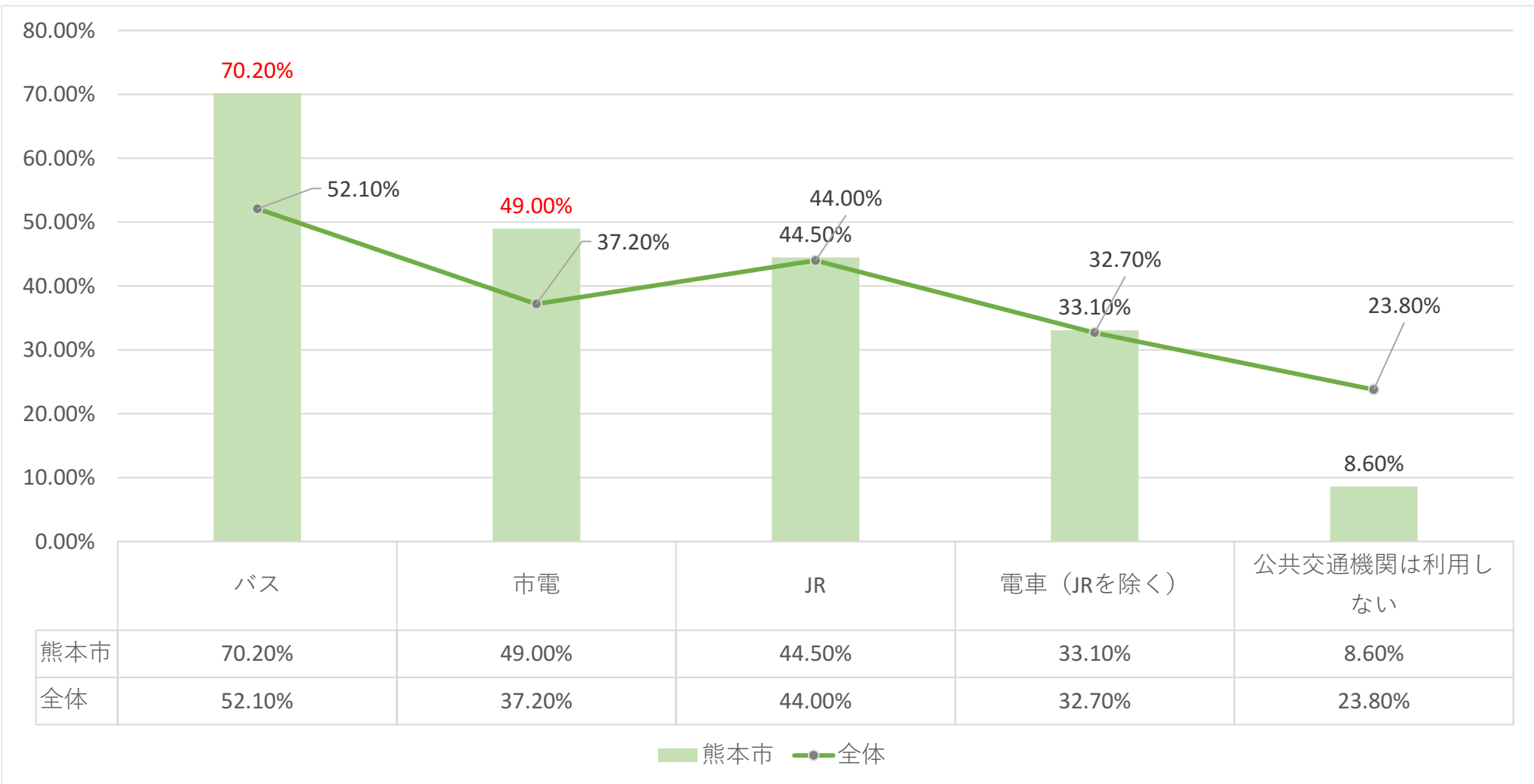


Q3学歴×Q27不便さを感じる交通機関「バス」 ※表は一部抜粋 $\chi^2=63.5$ 自由度=4 $p<0.001$

Q3学歴×Q27不便さを感じる交通機関「市電」 ※表は一部抜粋 $\chi^2=29.8$ 自由度=4 $p<0.001$

表21 熊本市在住×不便さを感じる交通機関

熊本市在住の人で不便さを感じる交通機関として「バス」「市電」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

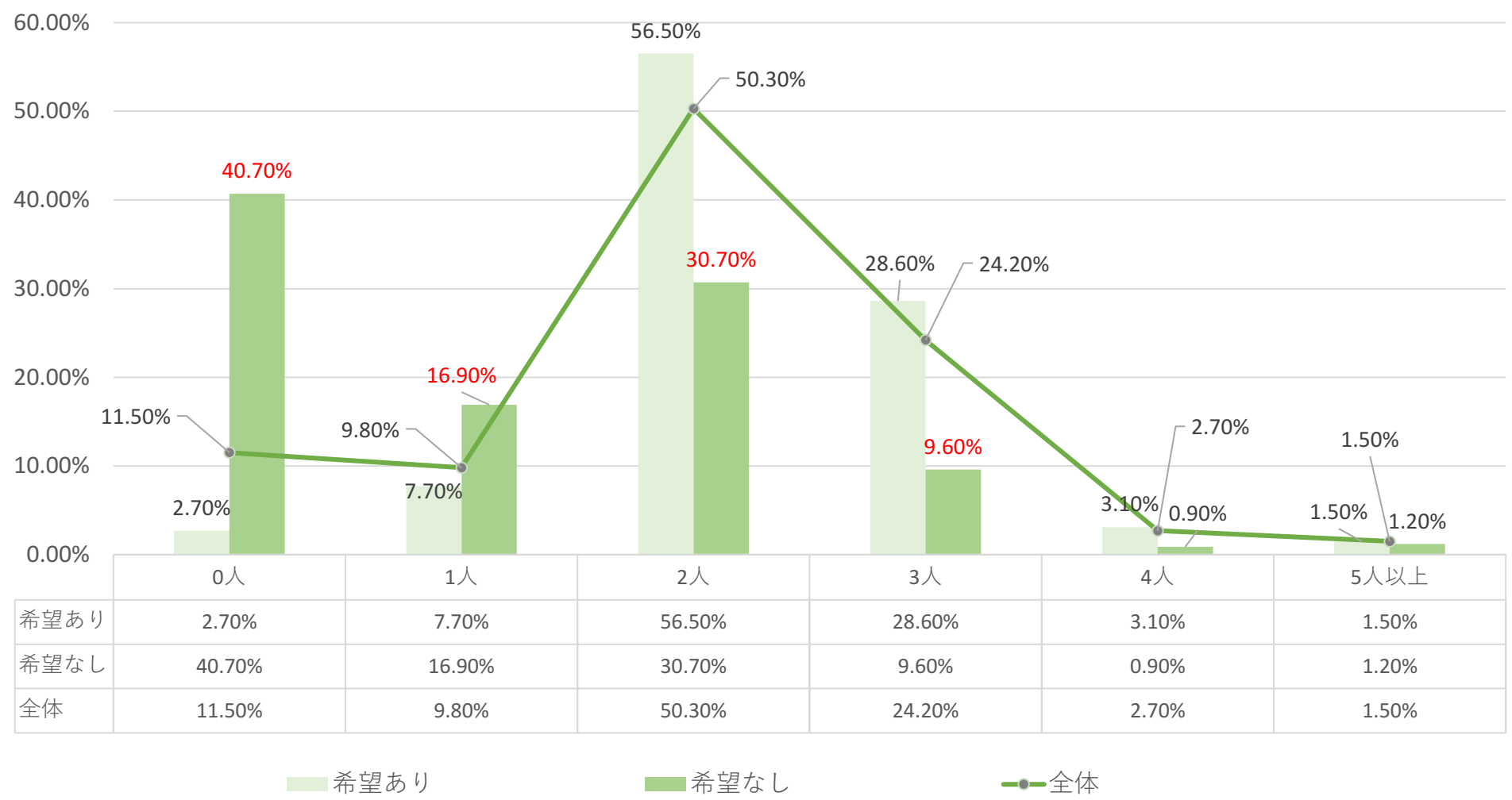


Q4居住地×Q27不便さを感じる交通機関「市電」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=24.7$ 自由度=5 $p<0.001$

Q4居住地×Q27不便さを感じる交通機関「バス」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=49$ 自由度=5 $p<0.001$

表22 結婚希望なし×理想のこどもの人数

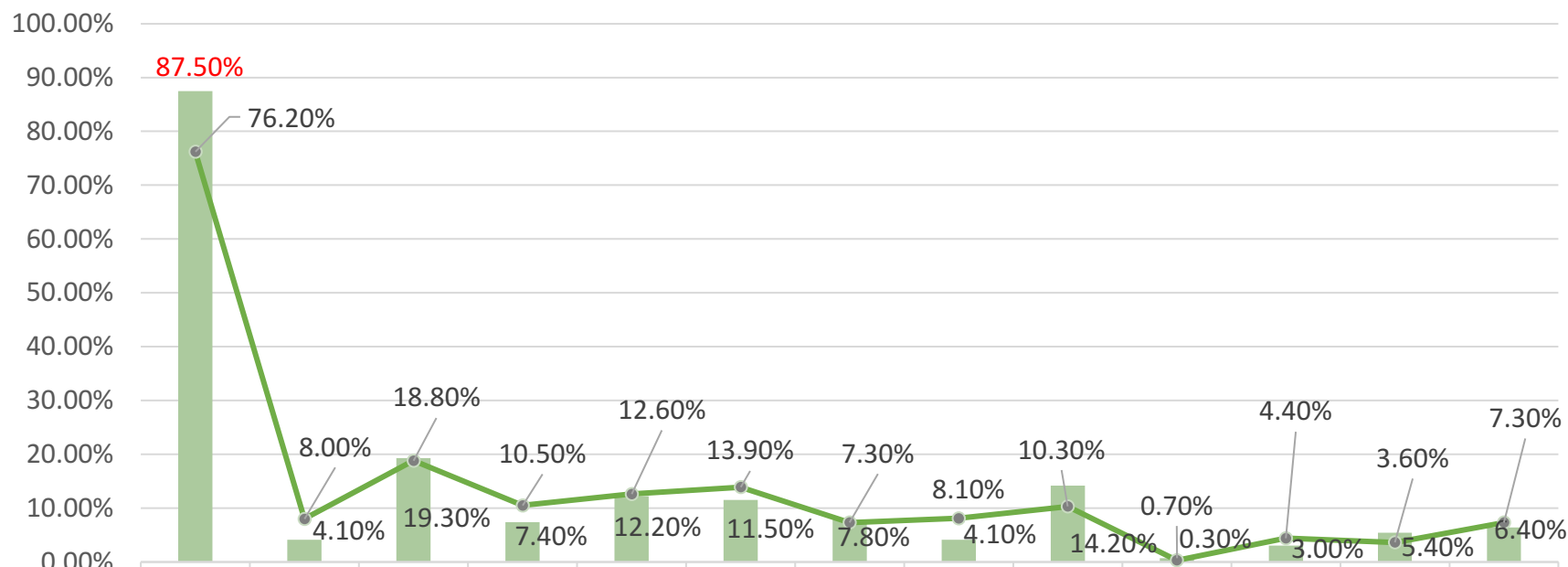
結婚を希望していない人は、理想のこどもの人数は「0人」と答えている人が多い。結婚を希望しないがこどもは欲しい（理想のこどもの人数）層は、結婚希望よりも少ないものの、ある一定層存在する傾向。



Q10結婚希望×Q30理想のこどもの人数（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=1116.2$ 自由度=5 $p<0.001$

表23 大学・短大・高専（大学院含む）生×理想のこどもの人数より少ない理由

大学・短大・高専（大学院含む）生は、理想のこどもの人数よりも現実的に持てるこどもの人数が少ない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



■ 大学・短大・高専（大学院含む）	87.50%	4.10%	19.30%	7.40%	12.20%	11.50%	7.80%	4.10%	14.20%	0.70%	3.00%	5.40%	6.40%
● 全体	76.20%	8.00%	18.80%	10.50%	12.60%	13.90%	7.30%	8.10%	10.30%	0.30%	4.40%	3.60%	7.30%

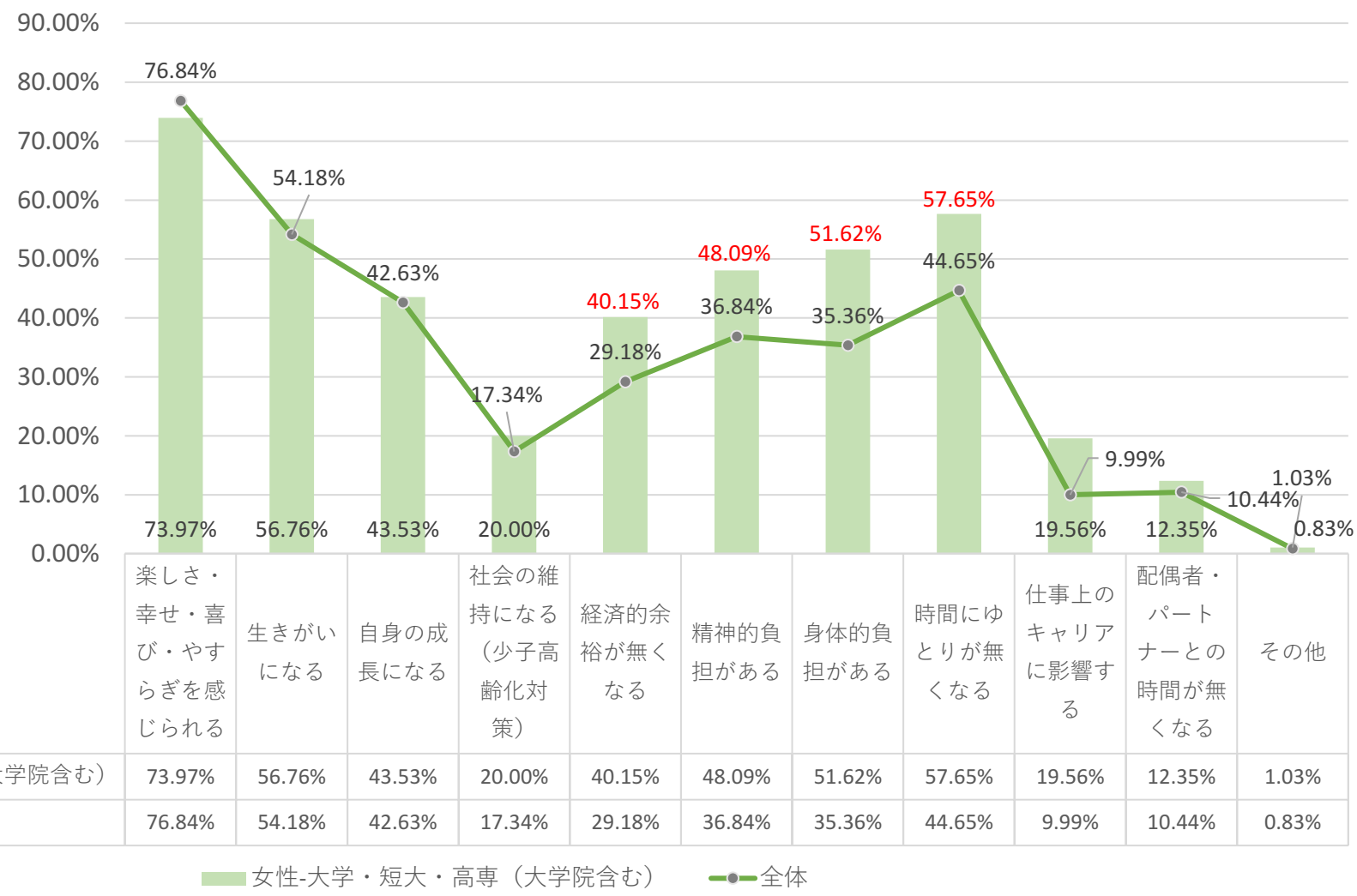
■ 大学・短大・高専（大学院含む） ● 全体

Q3学歴×Q32理想のこどもの人数より少ない理由「子育てや教育にお金がかかりすぎる」（※表は一部抜粋）

$\chi^2=49.3$ 自由度=4 $p<0.001$

表24 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×子育てに対するイメージ

大学・短大・高専（大学院含む）生は、子育てに対するイメージとして「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりが無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「経済的余裕が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=50.3$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「精神的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=41.2$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「身体的負担がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=69.5$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q20子育てに対するイメージ「時間にゆとりが無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=17$ 自由度=4 $p<0.01$

表25 女性×熊本市在住×子育てに対するイメージ

熊本市在住の女性は、子育てに対して「経済的余裕が無くなる」「精神的負担がある」「身体的負担がある」「身体的負担がある」「時間にゆとりがなくなる」というイメージを持つ人が多い傾向。

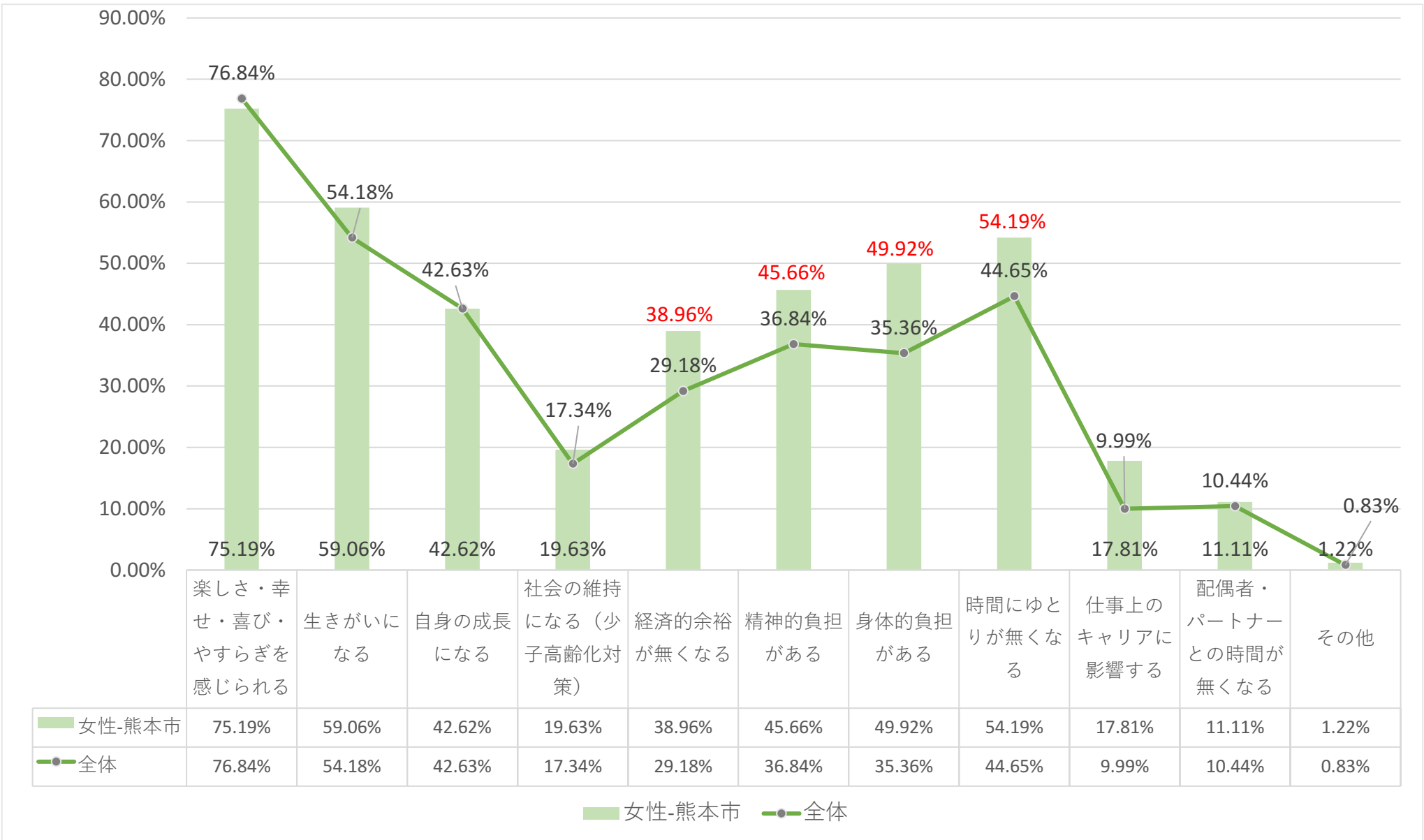
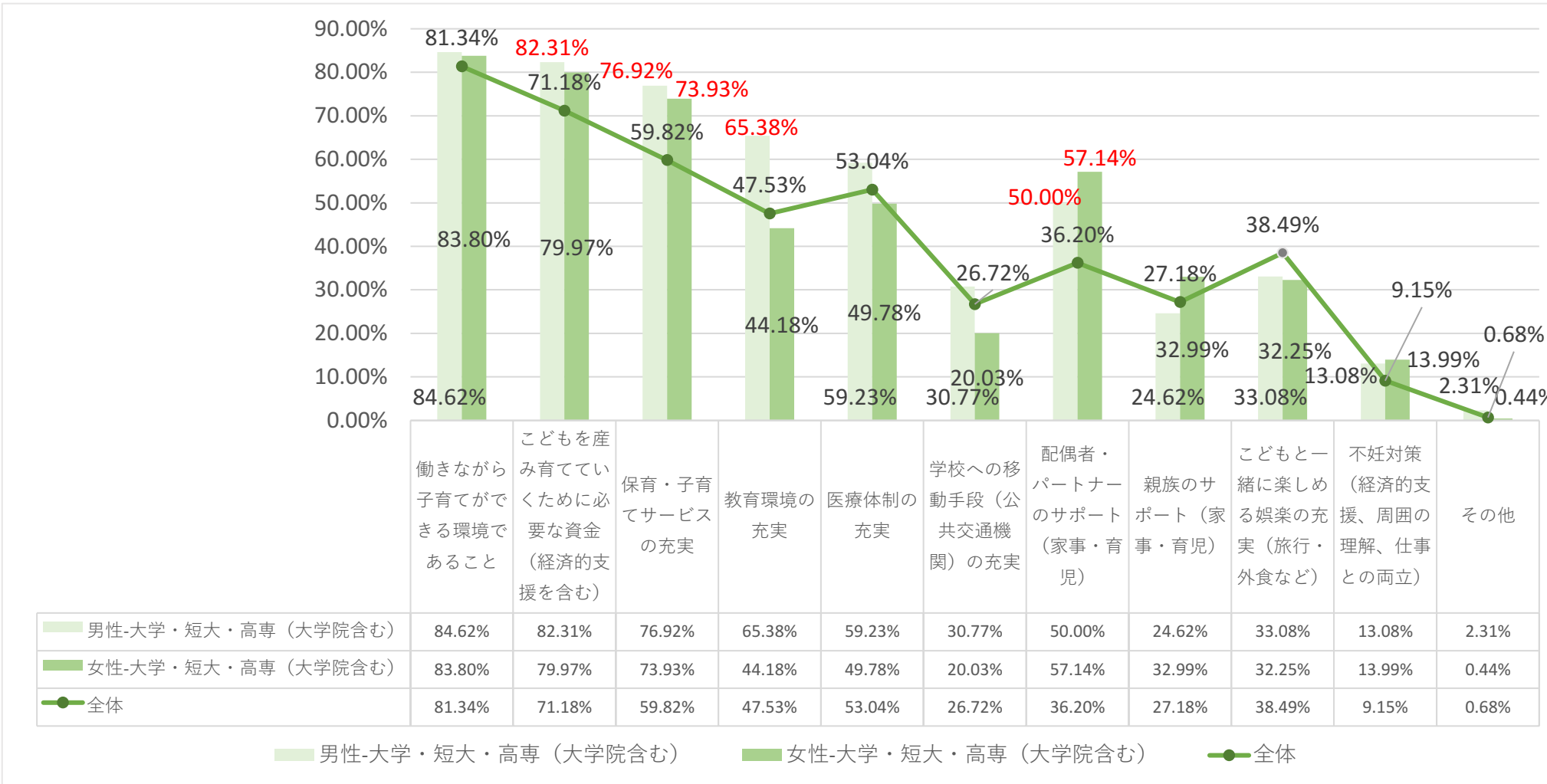


表26 男性or女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×必要な子育て支援

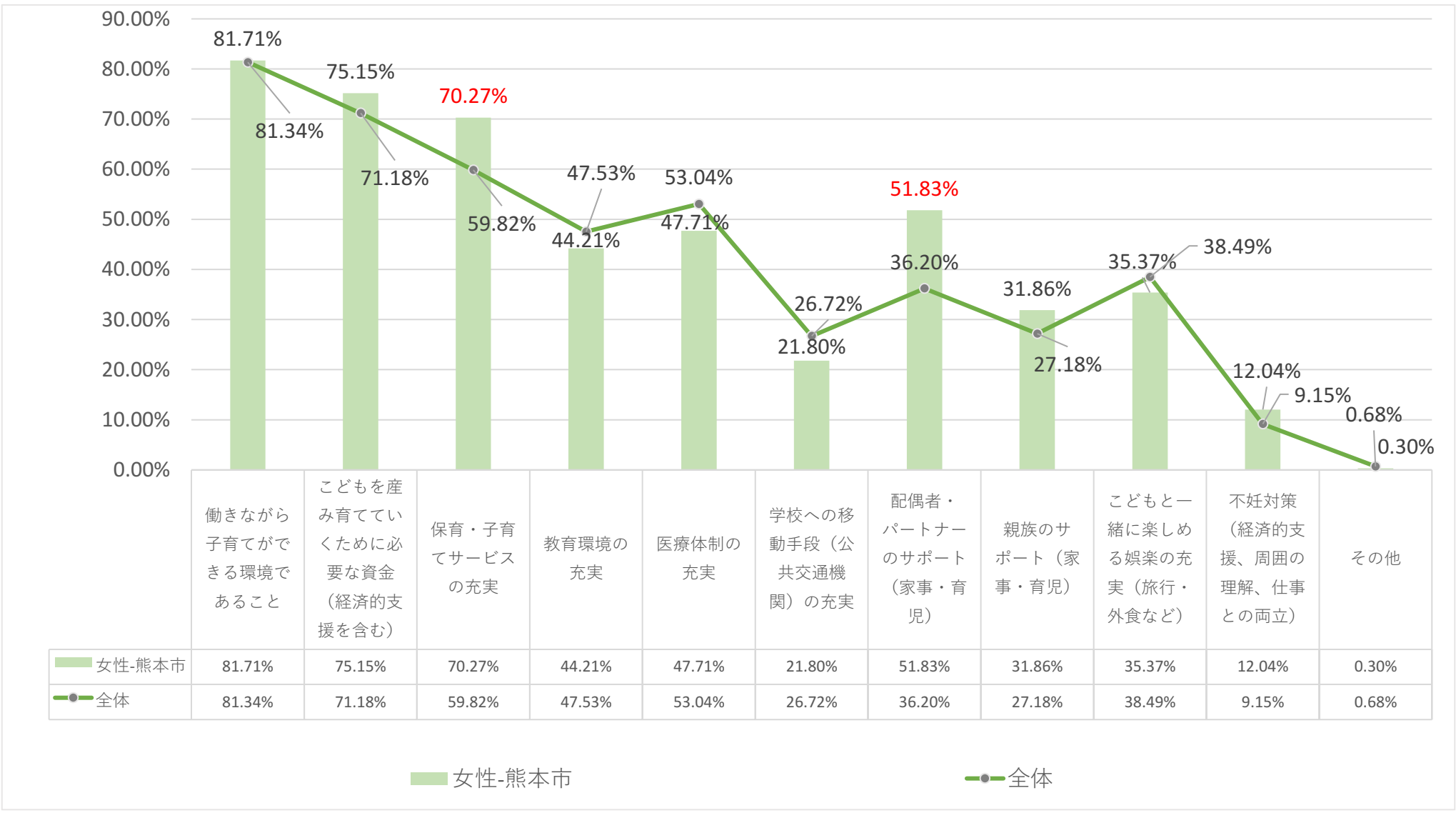
大学・短大・高専（大学院含む）生は、必要な子育て支援として男女ともに「保育・子育てサービスの充実」と「配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。また、男性の大学・短大・高専（大学院含む）生は「こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）」や「教育環境の充実」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



- Q1性別(男性)・Q3学歴×Q21必要な子育て支援「こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）」（※表は一部抜粋） $\chi^2=26.1$ 自由度=4 $p<0.001$
- Q1性別(男性)・Q3学歴×Q21必要な子育て支援「保育・子育てサービスの充実」（※表は一部抜粋） $\chi^2=65.5$ 自由度=4 $p<0.001$
- Q1性別(男性)・Q3学歴×Q21必要な子育て支援「教育環境の充実」（※表は一部抜粋） $\chi^2=12.7$ 自由度=4 $p<0.05$
- Q1性別(男性)・Q3学歴×Q21必要な子育て支援「配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）」（※表は一部抜粋） $\chi^2=85$ 自由度=4 $p<0.001$
- Q1性別(女性)・Q3学歴×Q21必要な子育て支援「保育・子育てサービスの充実」（※表は一部抜粋） $\chi^2=74.4$ 自由度=4 $p<0.001$
- Q1性別(女性)・Q3学歴×Q21必要な子育て支援「配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）」（※表は一部抜粋） $\chi^2=130.6$ 自由度=4 $p<0.001$

表27 女性×熊本市在住×必要な子育て支援

熊本市在住の女性は、必要な子育て支援として「保育・子育てサービスの充実」と「配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q4居住地域×Q21必要な子育て支援「保育・子育てサービスの充実」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=16.1$ 自由度=5 $p<0.01$
 Q1性別(女性)・Q4居住地域×Q21必要な子育て支援「配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=31.9$ 自由度=5 $p<0.001$

表28 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×働きながら産み育てていくために必要な支援

女性の大学・短大・高専（大学院含む）生は、働きながら子どもを産み育てていくために必要な支援として「育児休業や短時間勤務、子どもに関する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

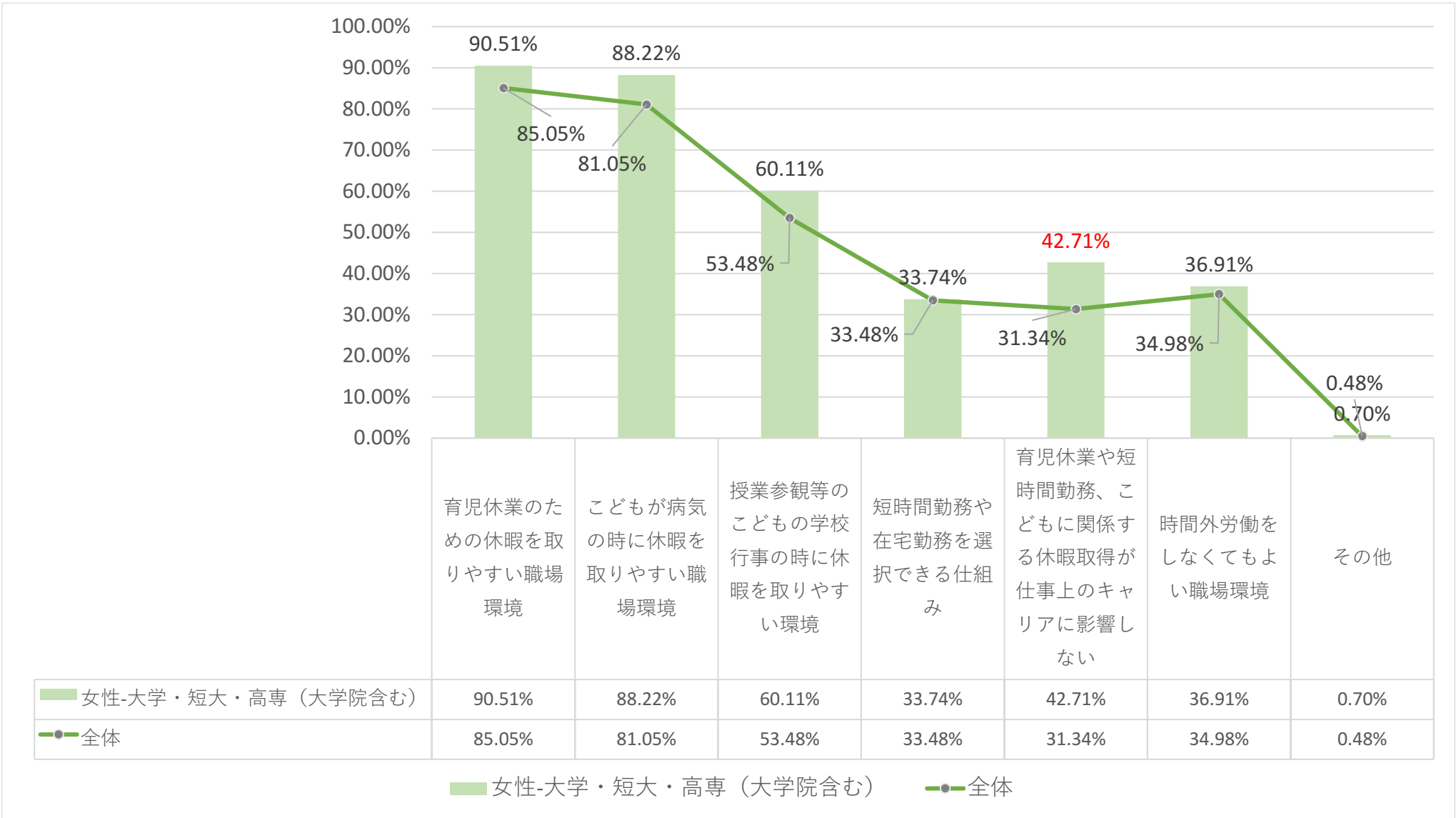
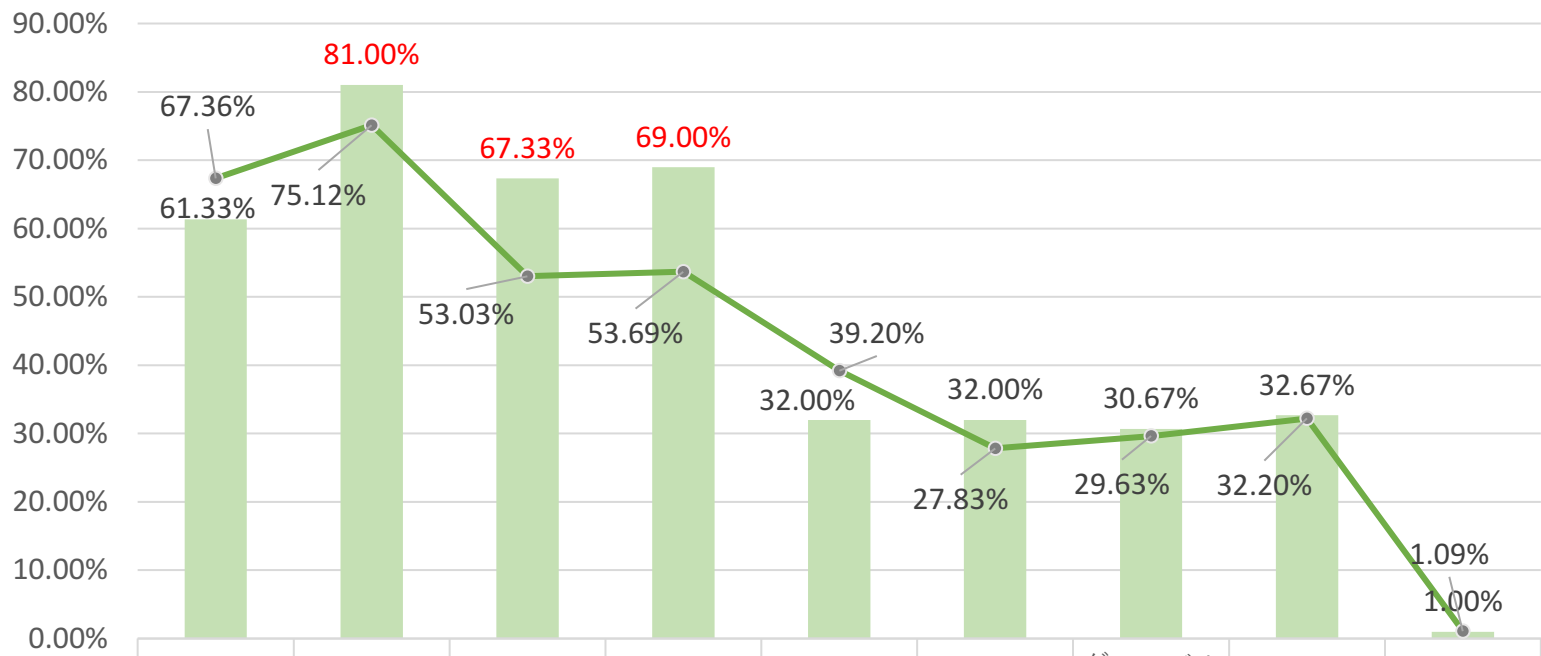


表29 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×教育環境の充実に必要な支援

女性の大学・短大・高専（大学院含む）生は、教育環境の充実に必要な支援として「高校の授業料無償化（所得制限なし）」「大学の授業料無償化」「奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



女性-大学・短大・高専（大学院含む）	61.33%	81.00%	67.33%	69.00%	32.00%	32.00%	30.67%	32.67%	1.00%
全体	67.36%	75.12%	53.03%	53.69%	39.20%	27.83%	29.63%	32.20%	1.09%

女性-大学・短大・高専（大学院含む） 全体

Q1性別(女性)・Q3学歴×Q25教育環境の充実に必要な支援「大学の授業料無償化」 ※表は一部抜粋

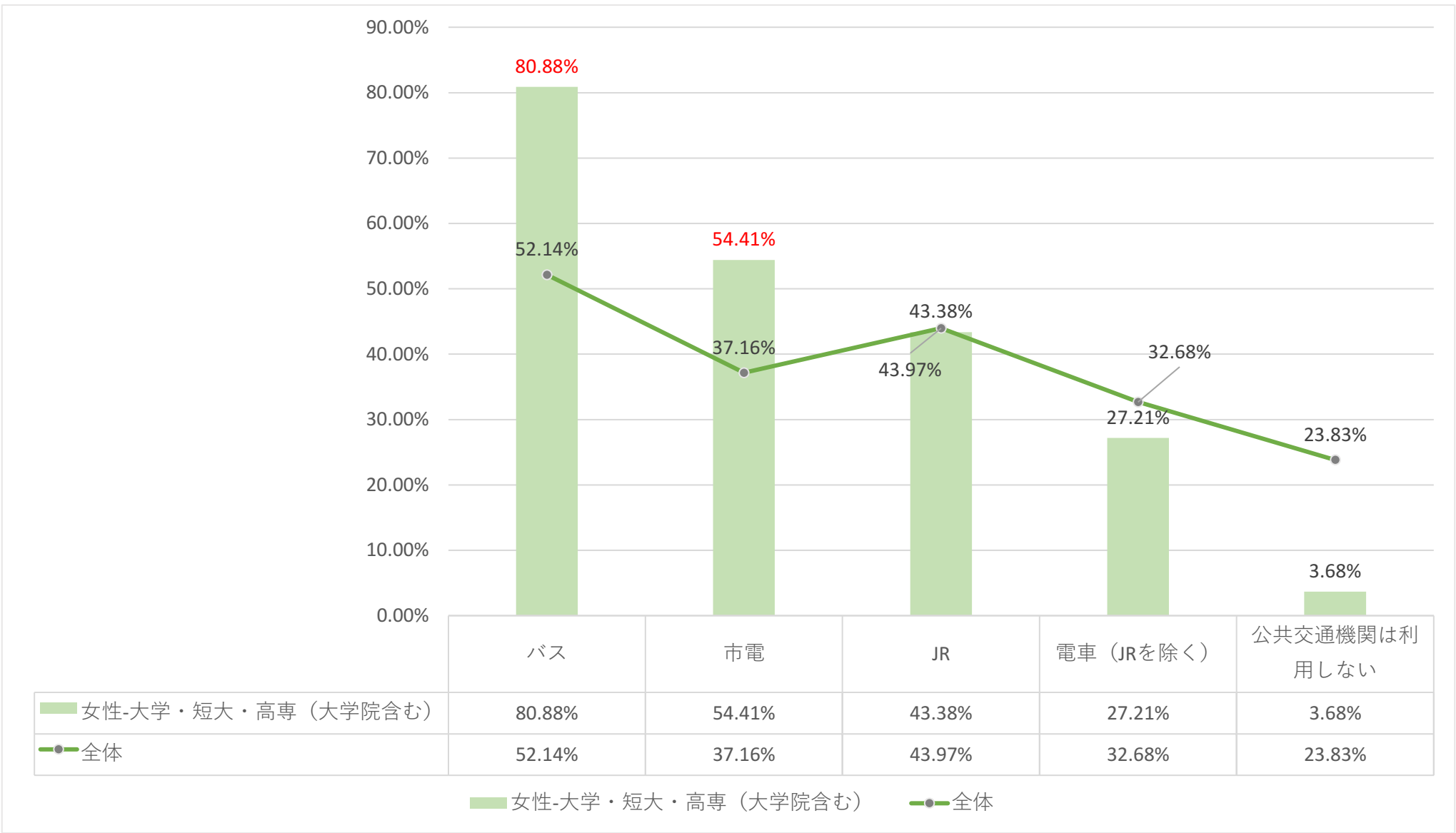
$\chi^2=31.5$ 自由度=4 $p<0.001$

Q1性別(女性)・Q3学歴×Q25教育環境の充実に必要な支援「奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）」 ※表は一部抜粋

$\chi^2=53.4$ 自由度=4 $p<0.001$

表30 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×不便さを感じる交通機関

女性の大学・短大・高専（大学院含む）生は、子育ての中で不便さを感じる交通機関として「バス」「市電」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q3学歴×Q27不便さを感じる交通機関「バス」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=69.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q27不便さを感じる交通機関「市電」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=25.2$ 自由度=4 $p<0.001$

表31 女性×熊本市在住×不便さを感じる交通機関

熊本市在住の女性は、子育ての中で不便さを感じる交通機関として「バス」「市電」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

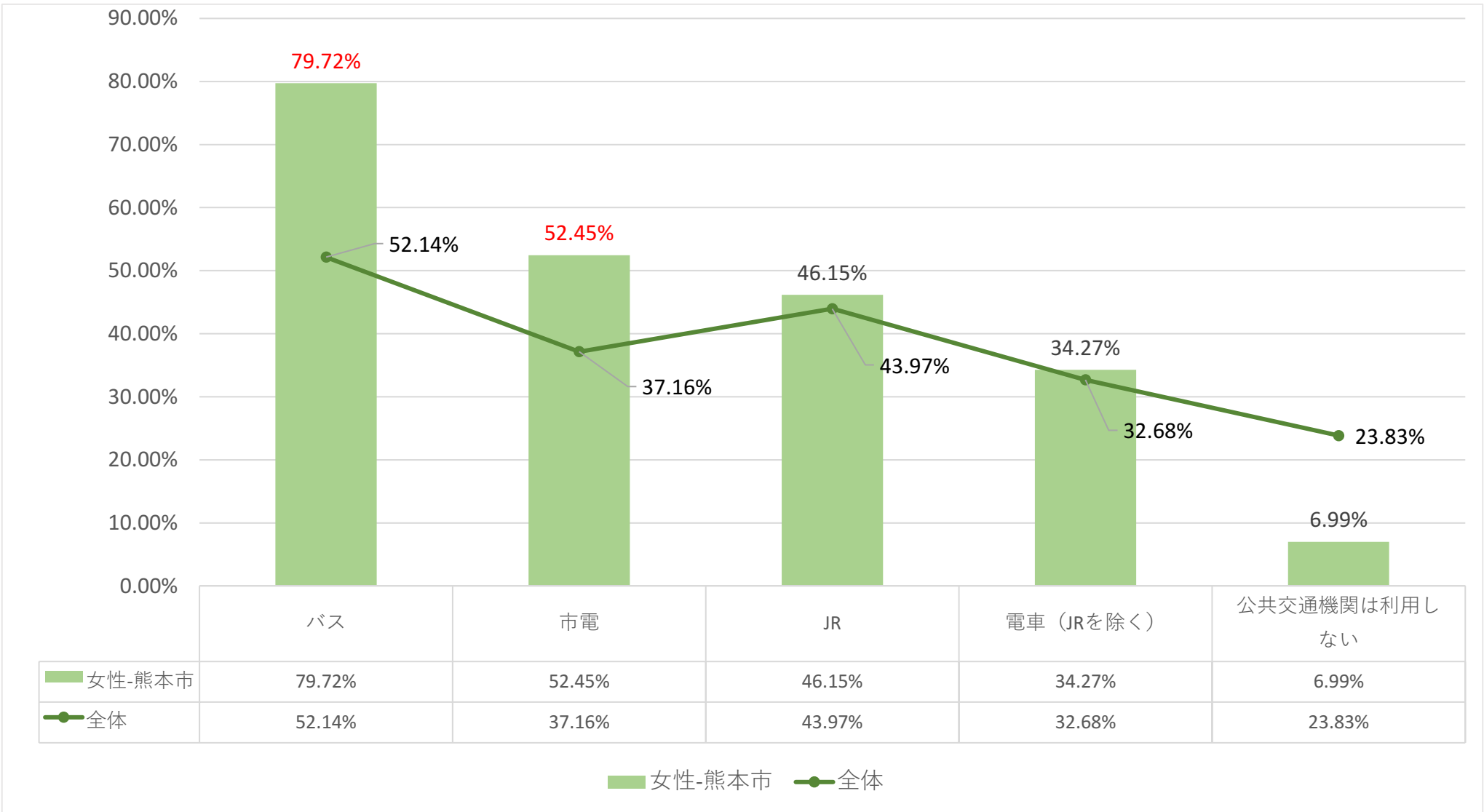
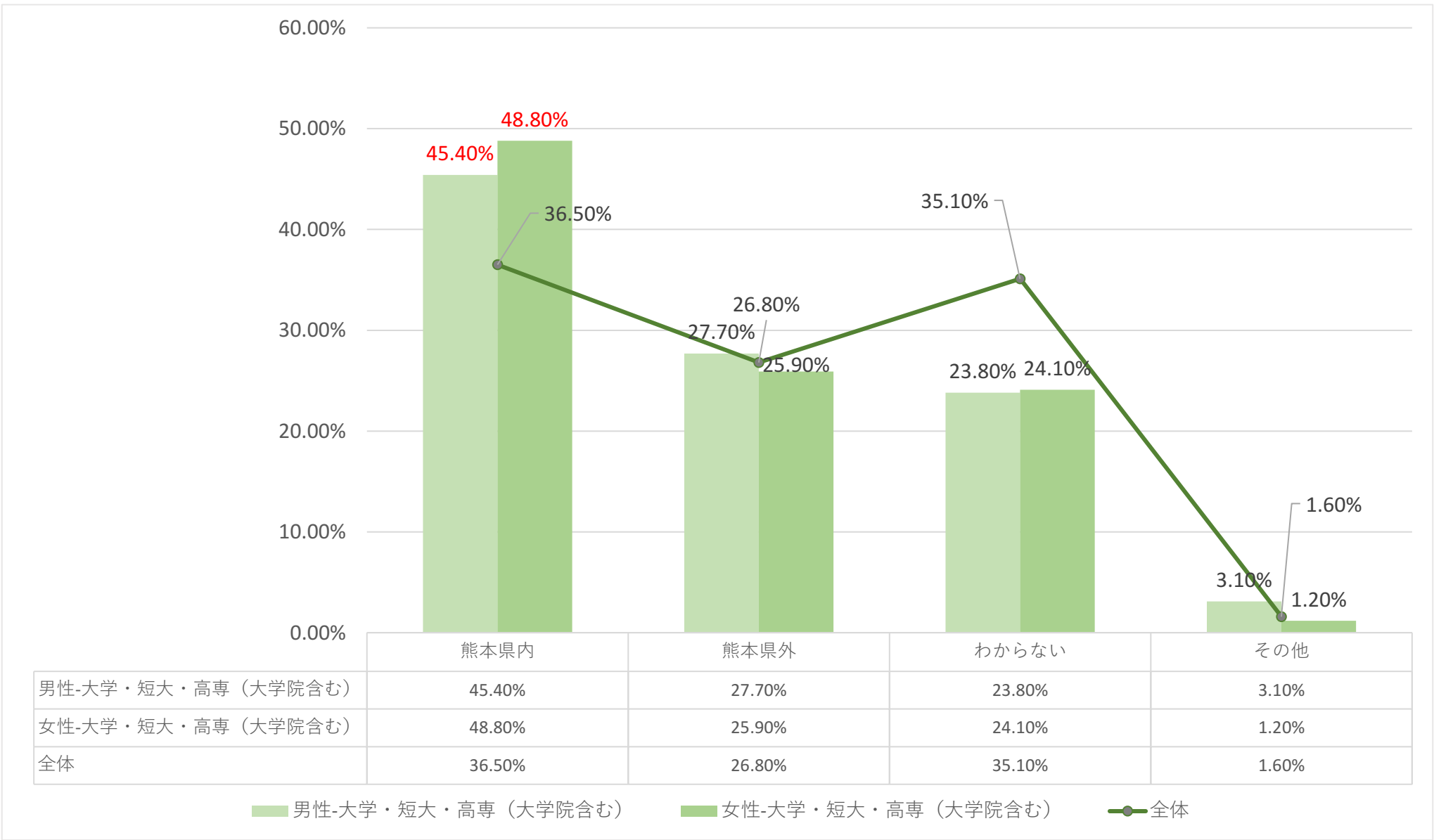


表32 男性or女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×将来働きたい場所

熊本県内の大学・短大・高専（大学院含む）生は、男女ともに将来働きたい場所として「熊本県内」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(男性)・Q3学歴×Q6将来働きたい場所 (※表は一部抜粋) $\chi^2=60.6$ 自由度=12 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q6将来働きたい場所 (※表は一部抜粋) $\chi^2=79.2$ 自由度=12 $p<0.001$

表33 女性×中学生×充実させてほしいもの

中学生の女性は、熊本で社会人として生活していくために充実させてほしいものとして「安全・安心な生活環境（交通安全・防犯）」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

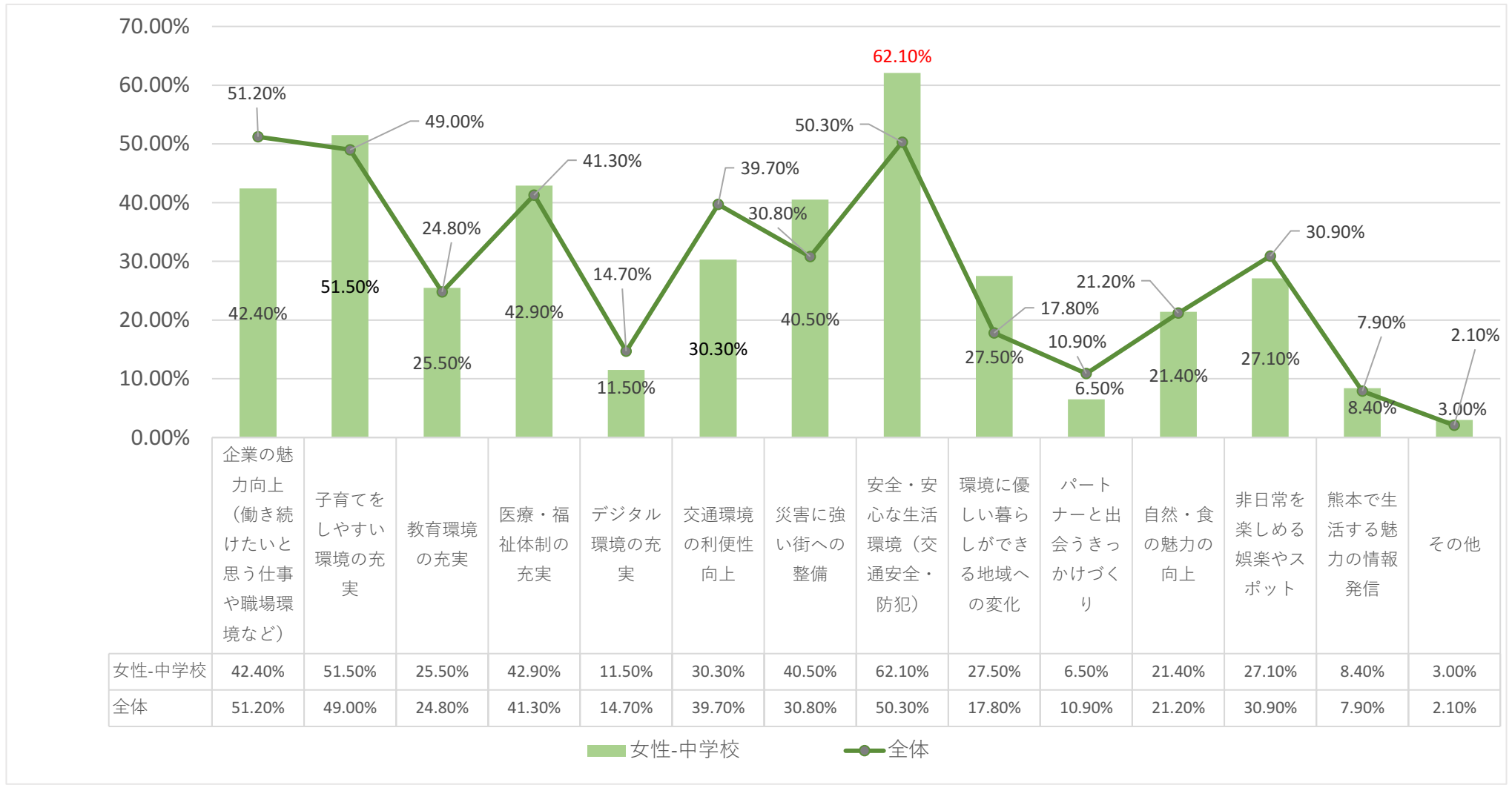
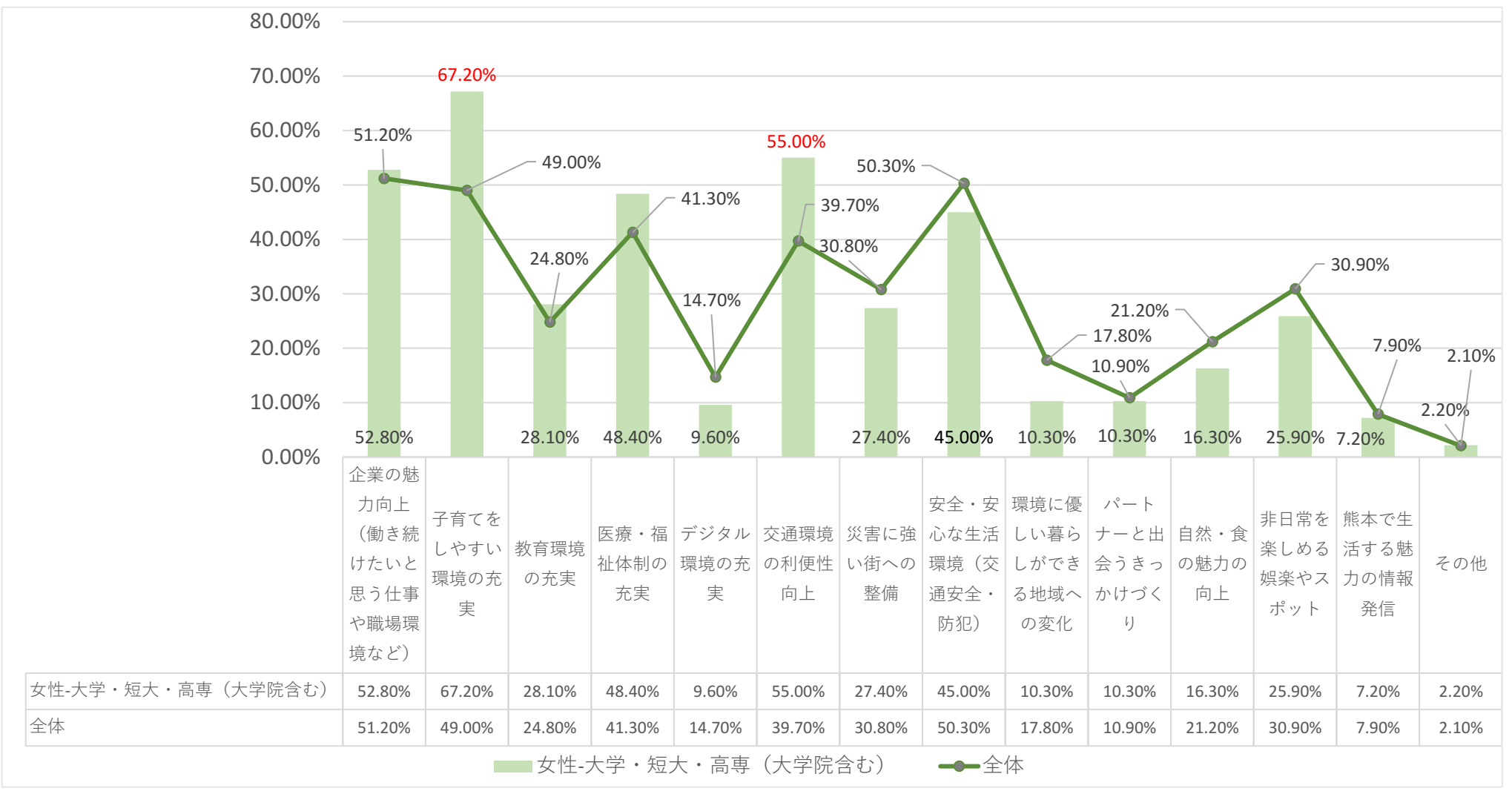


表34 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×充実させてほしいもの

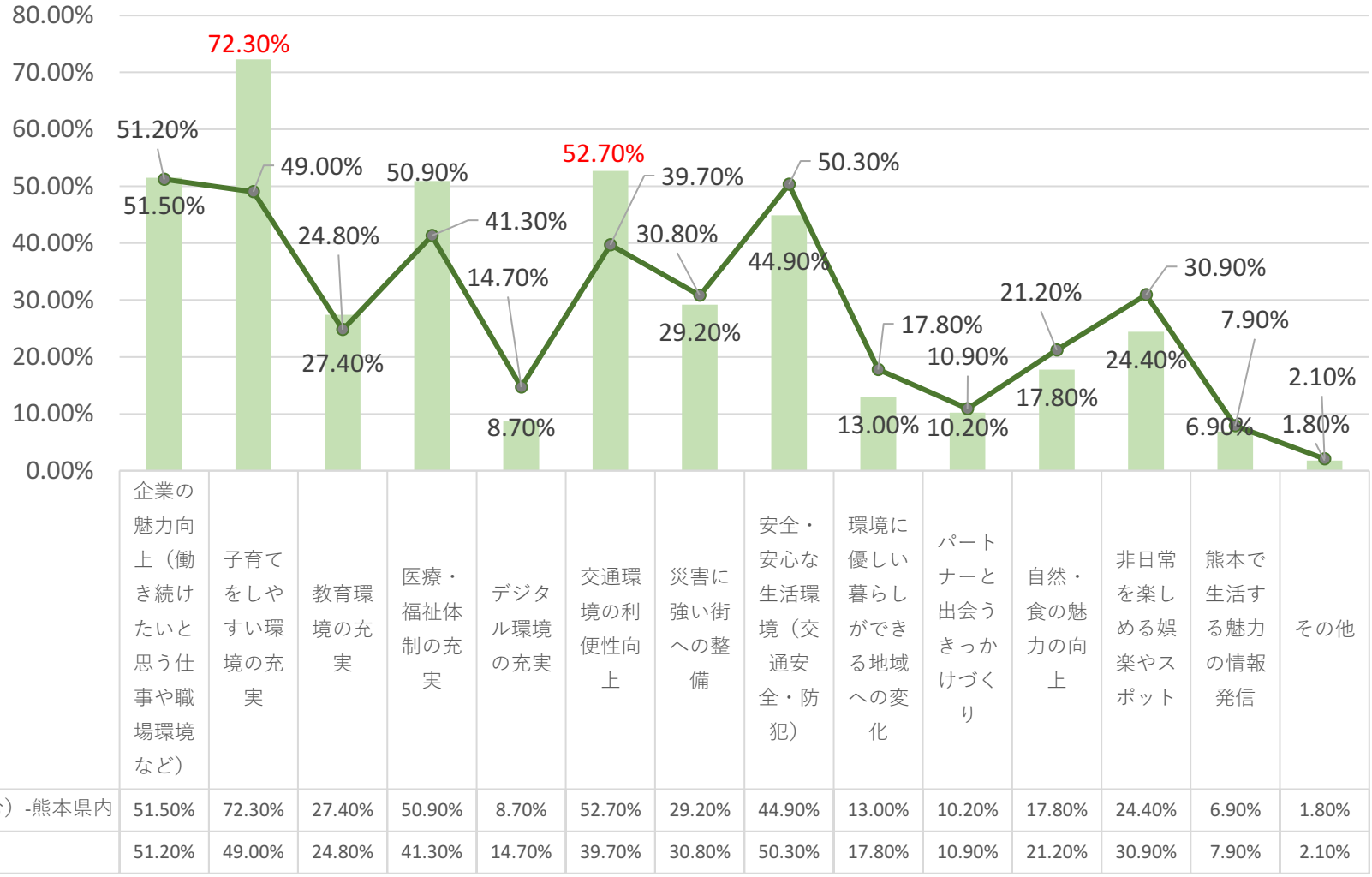
大学・短大・高専（大学院含む）生の女性は、熊本で社会人として生活していくために充実させてほしいものとして「子育てをしやすい環境の充実」「交通環境の利便性向上」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q3学歴×Q8充実させてほしいもの「子育てをしやすい環境の充実」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=53.8$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q8充実させてほしいもの「交通環境の利便性向上」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=70.1$ 自由度=4 $p<0.001$

表35 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×熊本県内就労希望×充実させてほしいもの

将来熊本県内で働きたいと考えている大学・短大・高専（大学院含む）生の女性は、熊本で社会人として生活していくために充実させてほしいものとして「子育てをしやすい環境の充実」「交通環境の利便性向上」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



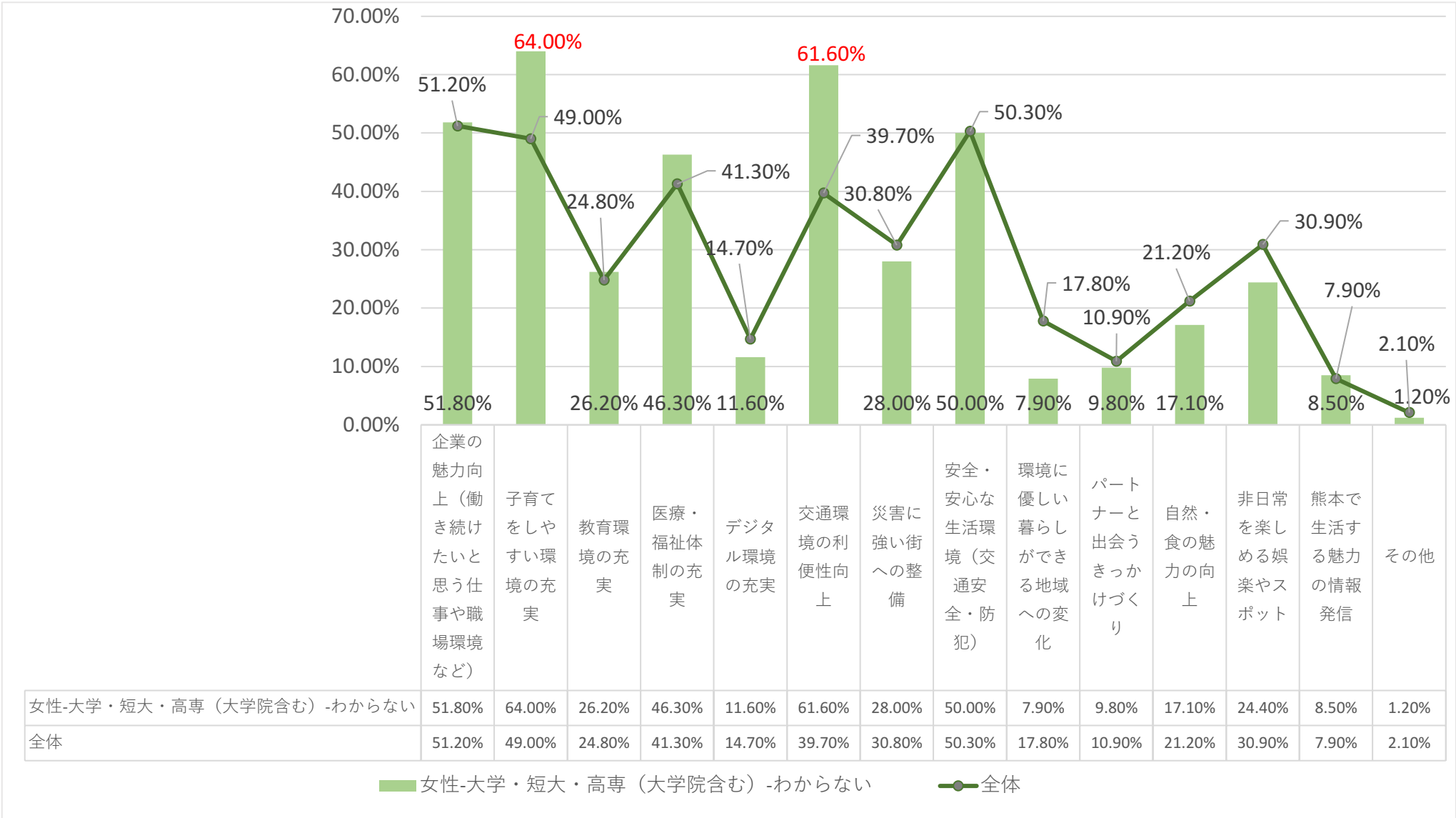
■ 女性-大学・短大・高専（大学院含む）-熊本県内 ● 全体

Q1性別(女性)・Q3学歴(大学)・Q6将来働きたい場所×Q8充実させてほしいもの「子育てをしやすい環境の充実」 ※表は一部抜粋 χ2=8 自由度=3 p<0.05

Q1性別(女性)・Q3学歴(大学)・Q6将来働きたい場所×Q8充実させてほしいもの「交通環境の利便性向上」 ※表は一部抜粋 χ2=4.6 自由度=3 p<0.001

表36 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×就労希望場所不明×充実させてほしいもの

就労エリアが熊本県内か熊本県外かまだわからないと答えている大学・短大・高専（大学院含む）生の女性は、熊本で社会人として生活していくために充実させてほしいものとして「子育てをしやすい環境の充実」「交通環境の利便性向上」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q3学歴(大学)・Q6将来働きたい場所×Q8充実させてほしいもの「子育てをしやすい環境の充実」(※表は一部抜粋) $\chi^2=8$ 自由度=3 $p<0.05$

Q1性別(女性)・Q3学歴(大学)・Q6将来働きたい場所×Q8充実させてほしいもの「交通環境の利便性向上」(※表は一部抜粋) $\chi^2=4.6$ 自由度=3 $p<0.001$

表37 女性×熊本県内就労希望×充実させてほしいもの

将来熊本県内で働きたいと考えている女性は、充実させてほしいものとして「子育てをしやすい環境の充実」「医療・福祉体制の充実」「交通環境の利便性向上」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

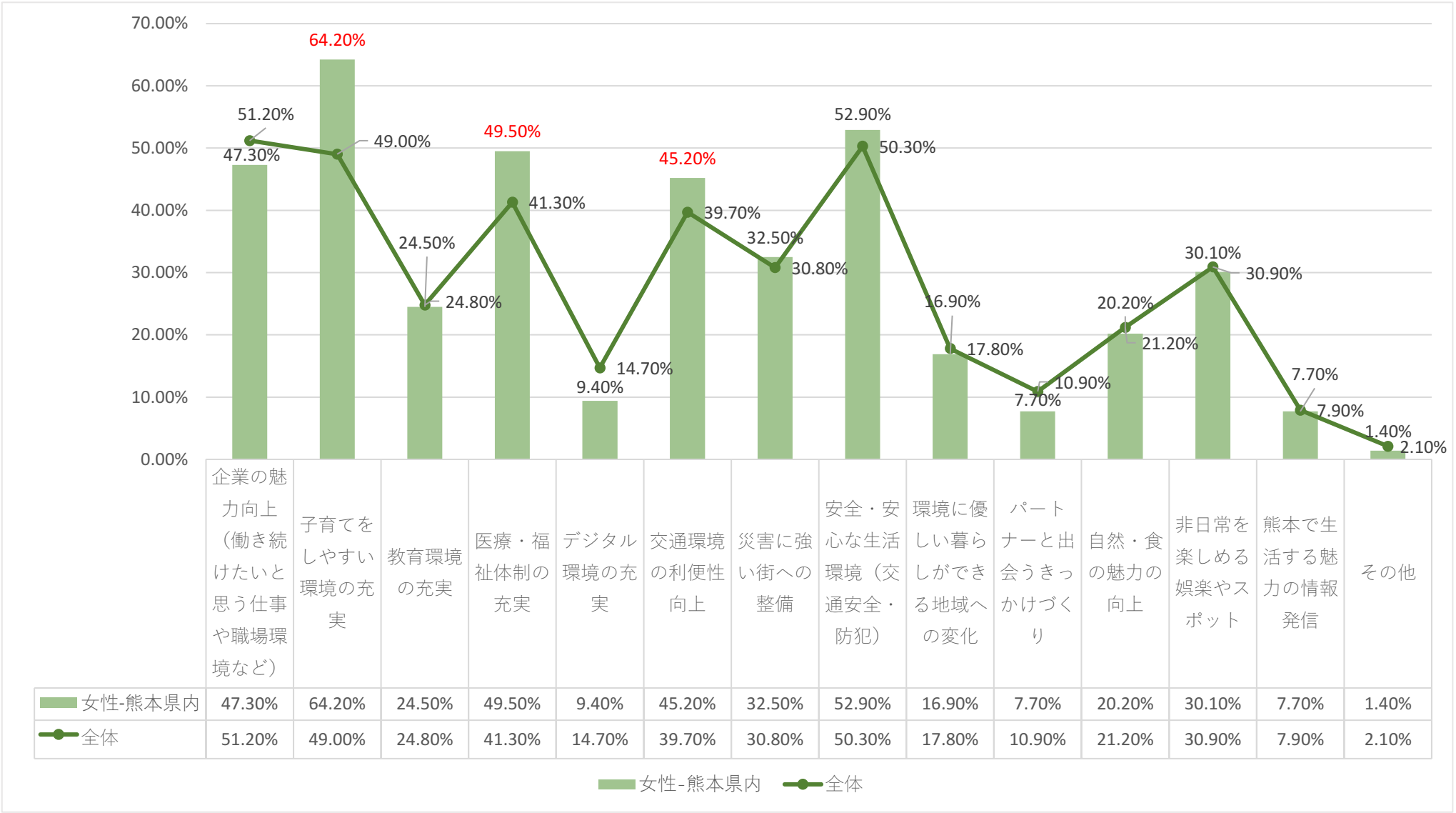


表38 女性×中学生×理想の結婚年齢

中学生の女性は、理想の結婚年齢として「20歳～24歳」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

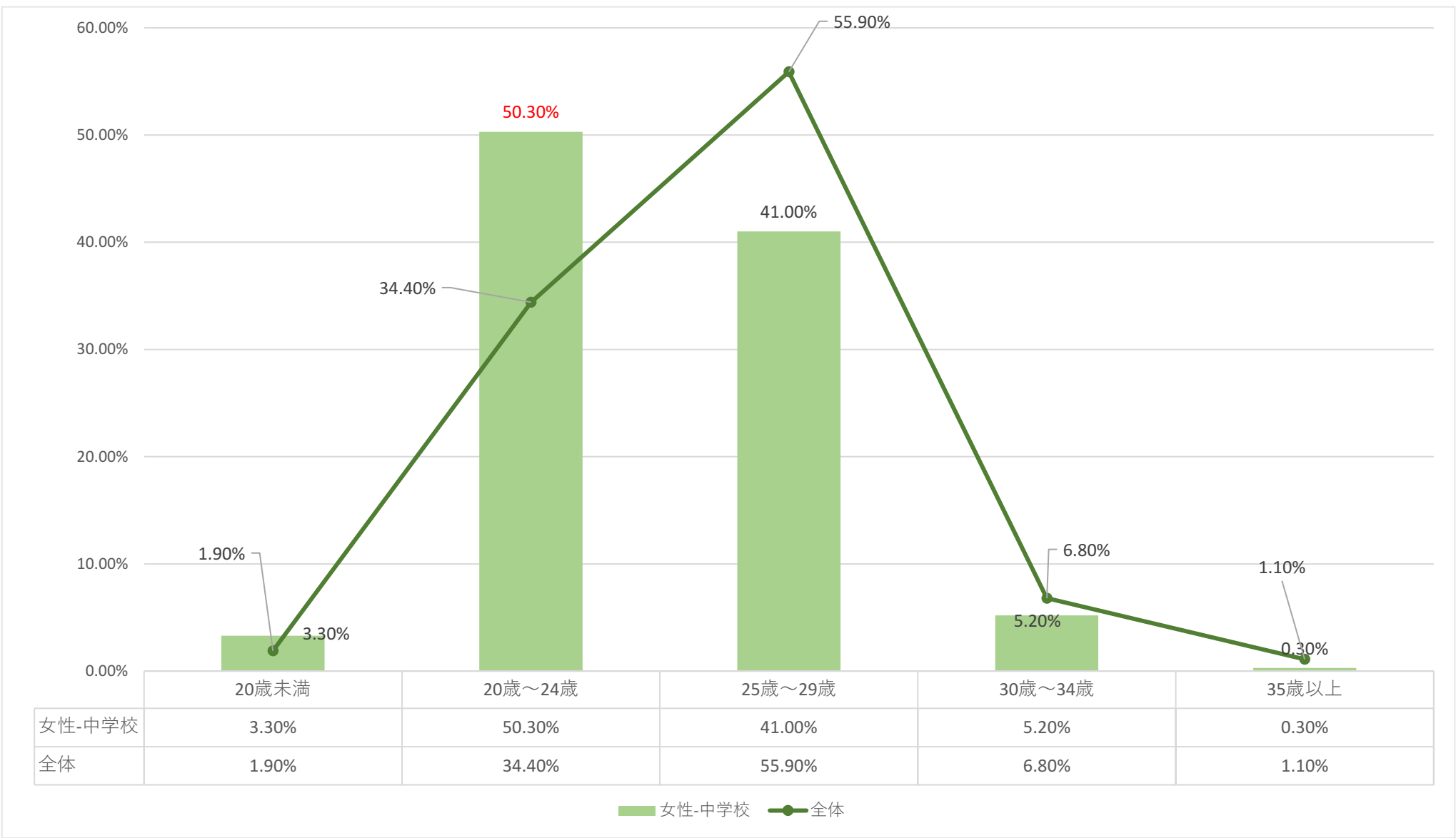


表39 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×理想の結婚年齢

大学・短大・高専（大学院含む）生の女性は、理想の結婚年齢として「25歳～29歳」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

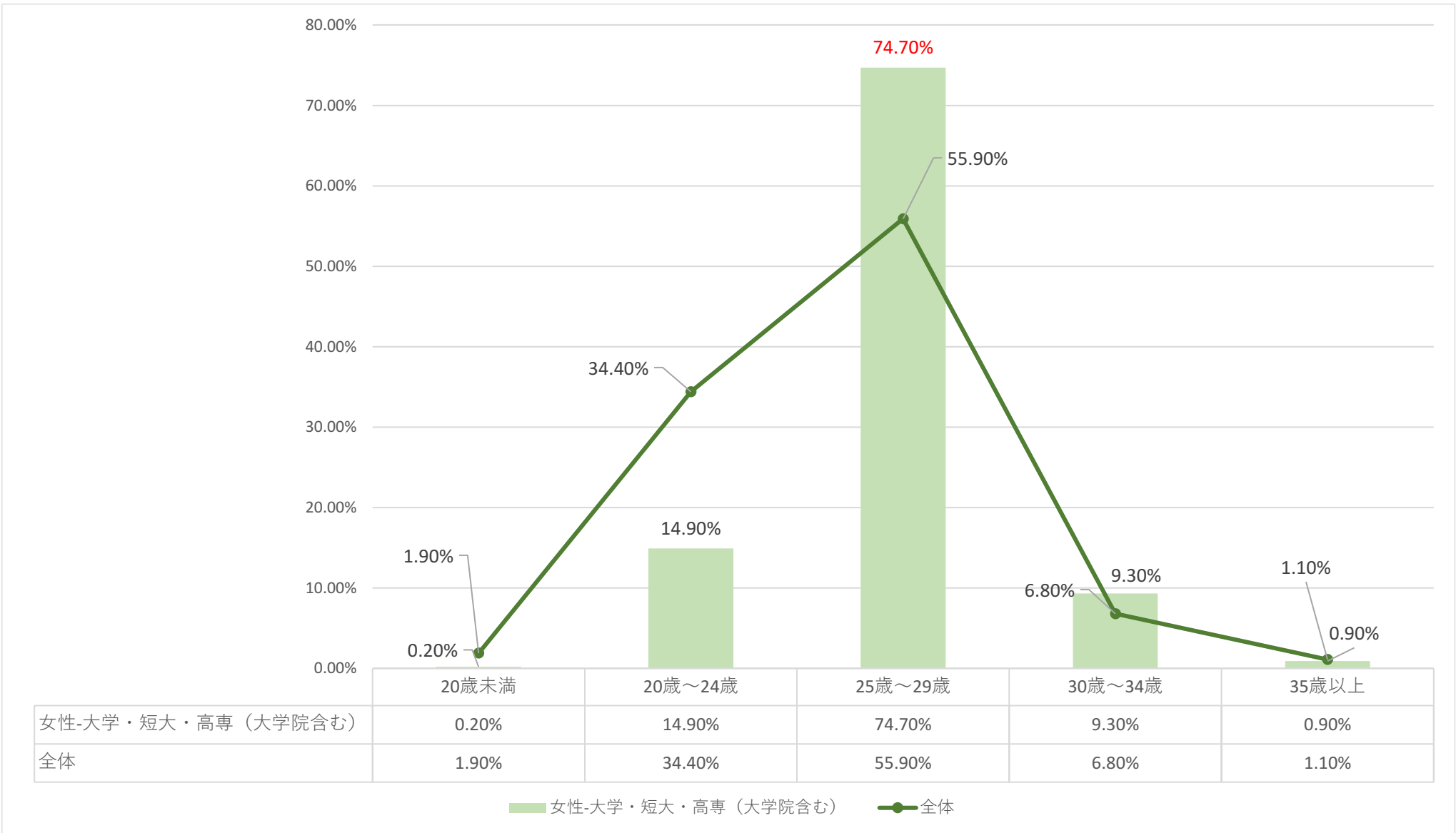
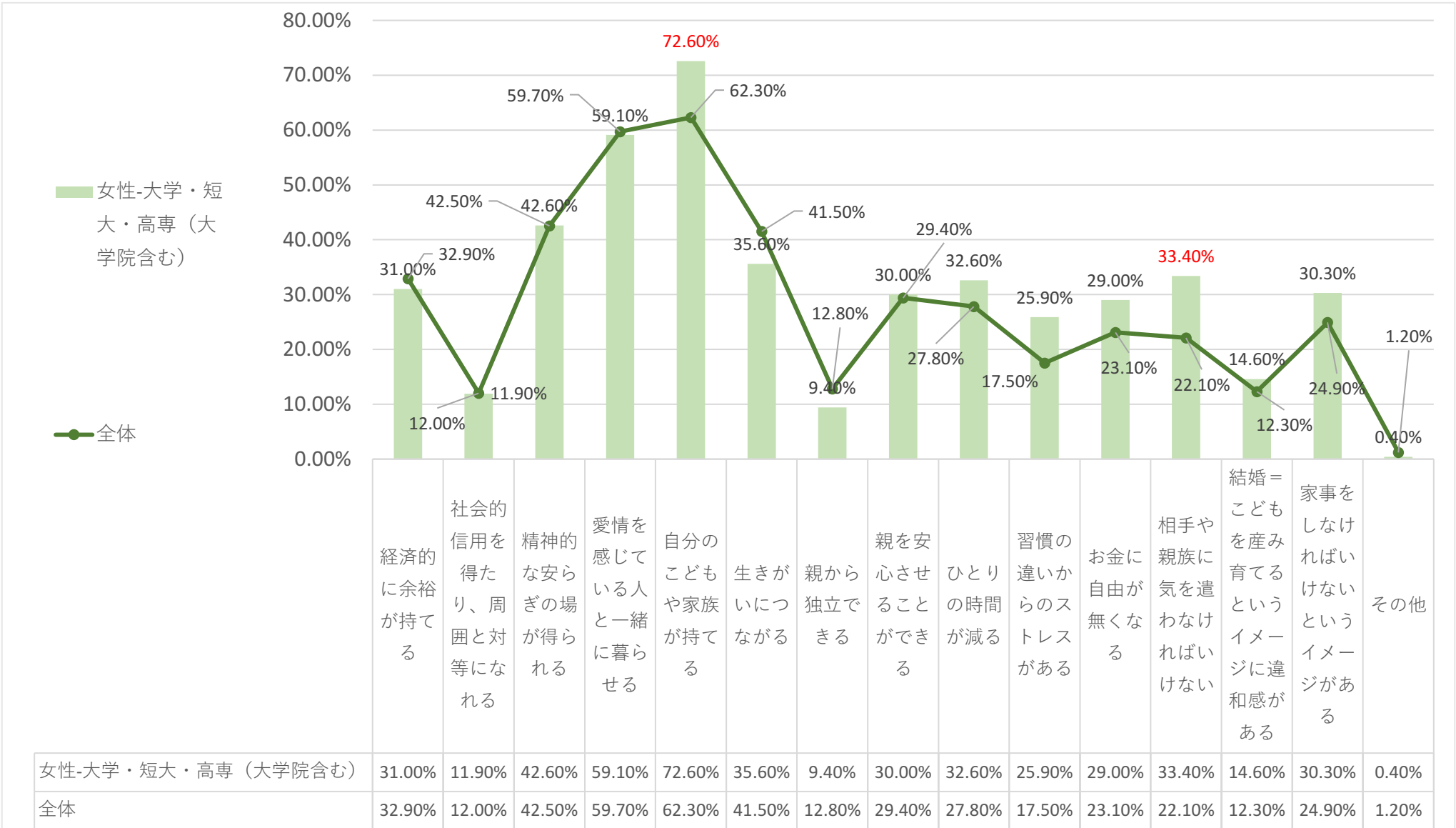


表40 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に対するイメージ

大学・短大・高専（大学院含む）生の女性は、結婚に対するイメージとして「自分の子どもや家族が持てる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(男性)・Q3学歴×Q15結婚に対するイメージ「生きがいにつながる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=32.6$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q15結婚に対するイメージ「自分の子どもや家族が持てる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=29.7$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q3学歴×Q15結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=50$ 自由度=4 $p<0.001$

表41 男性×将来結婚してこどもを持ち、仕事を続ける×結婚に対するイメージ

将来結婚してこどもを持ち、仕事も続けることを希望している男性は、結婚に対するイメージとして「生きがいにつながる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

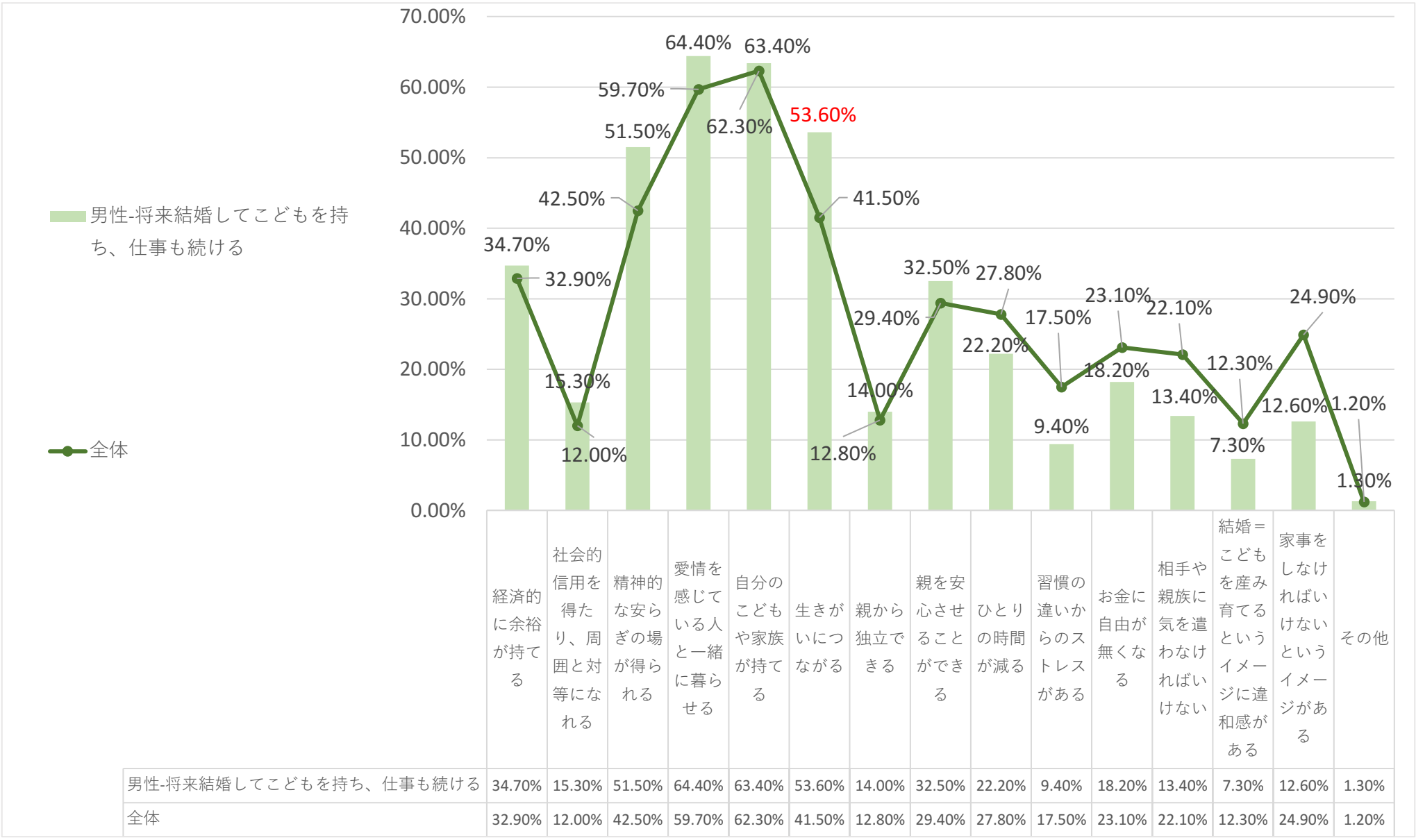


表42 女性×希望するライフスタイル×結婚に対するイメージ①

「将来、結婚して子どもを持ち仕事を続ける」ことを希望する女性と「将来、結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をすることを希望する女性は、結婚に対するイメージとして「自分の子どもや家族が持てる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

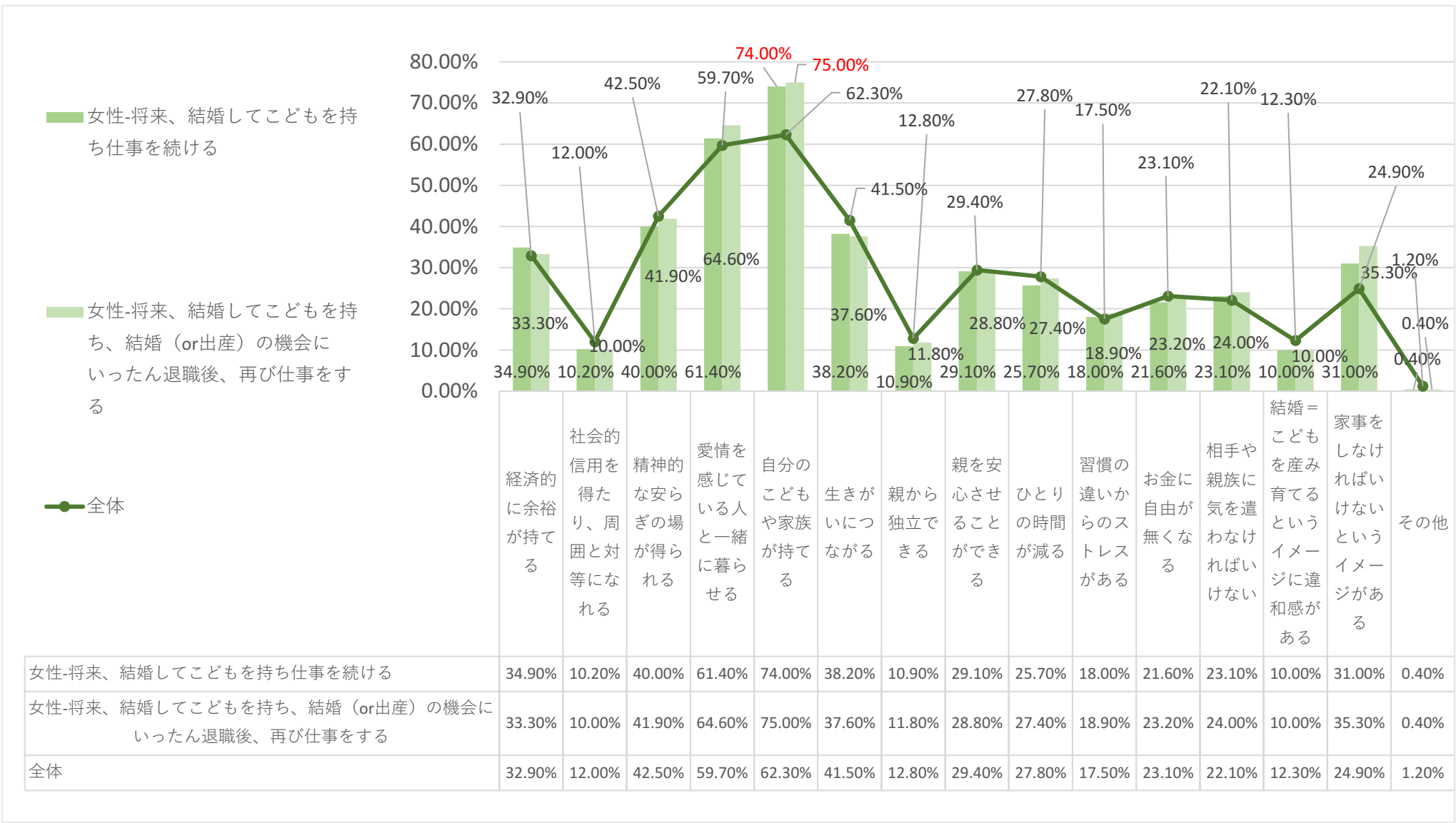
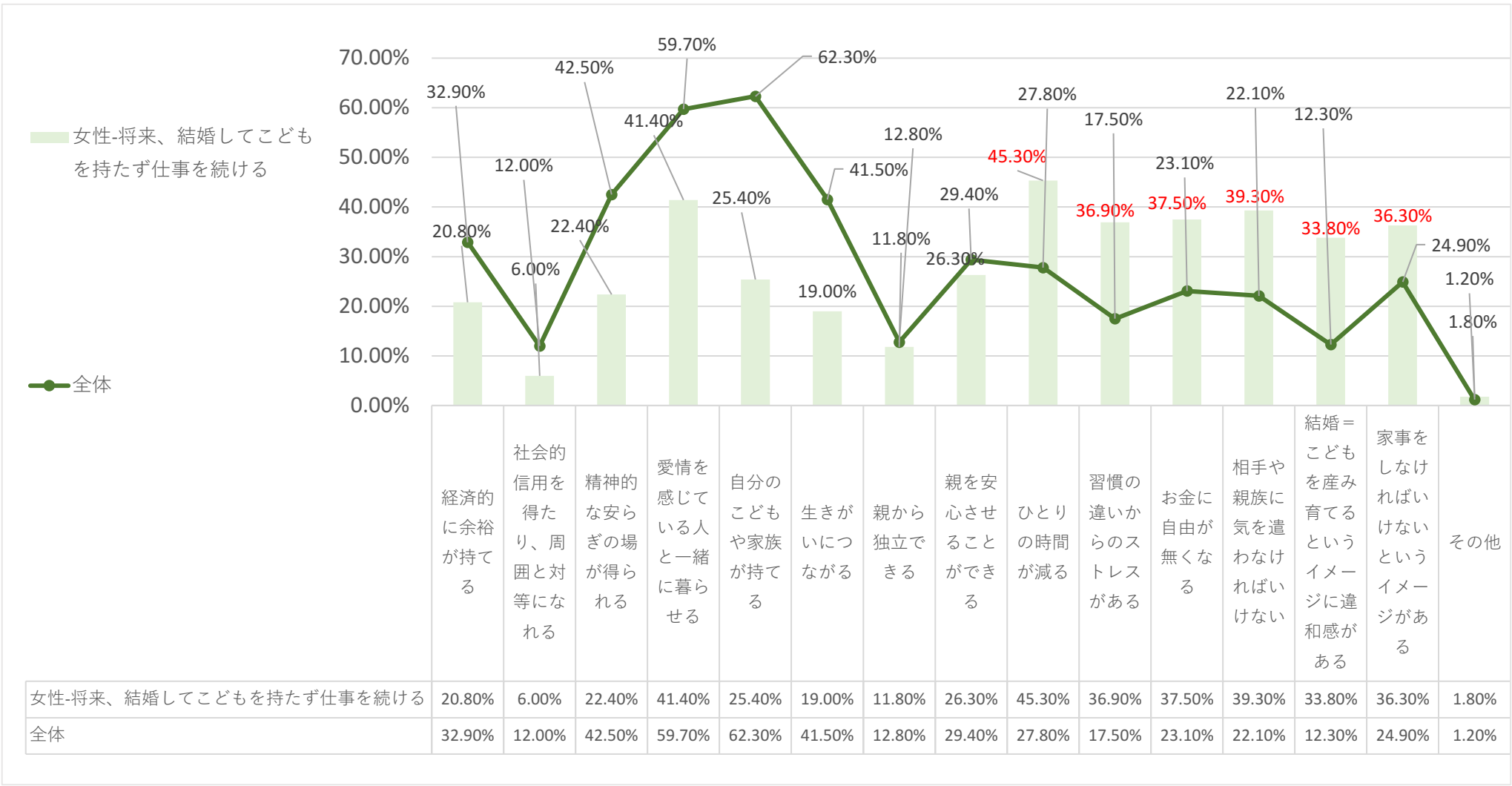


表43 女性×希望するライフスタイル×結婚に対するイメージ②

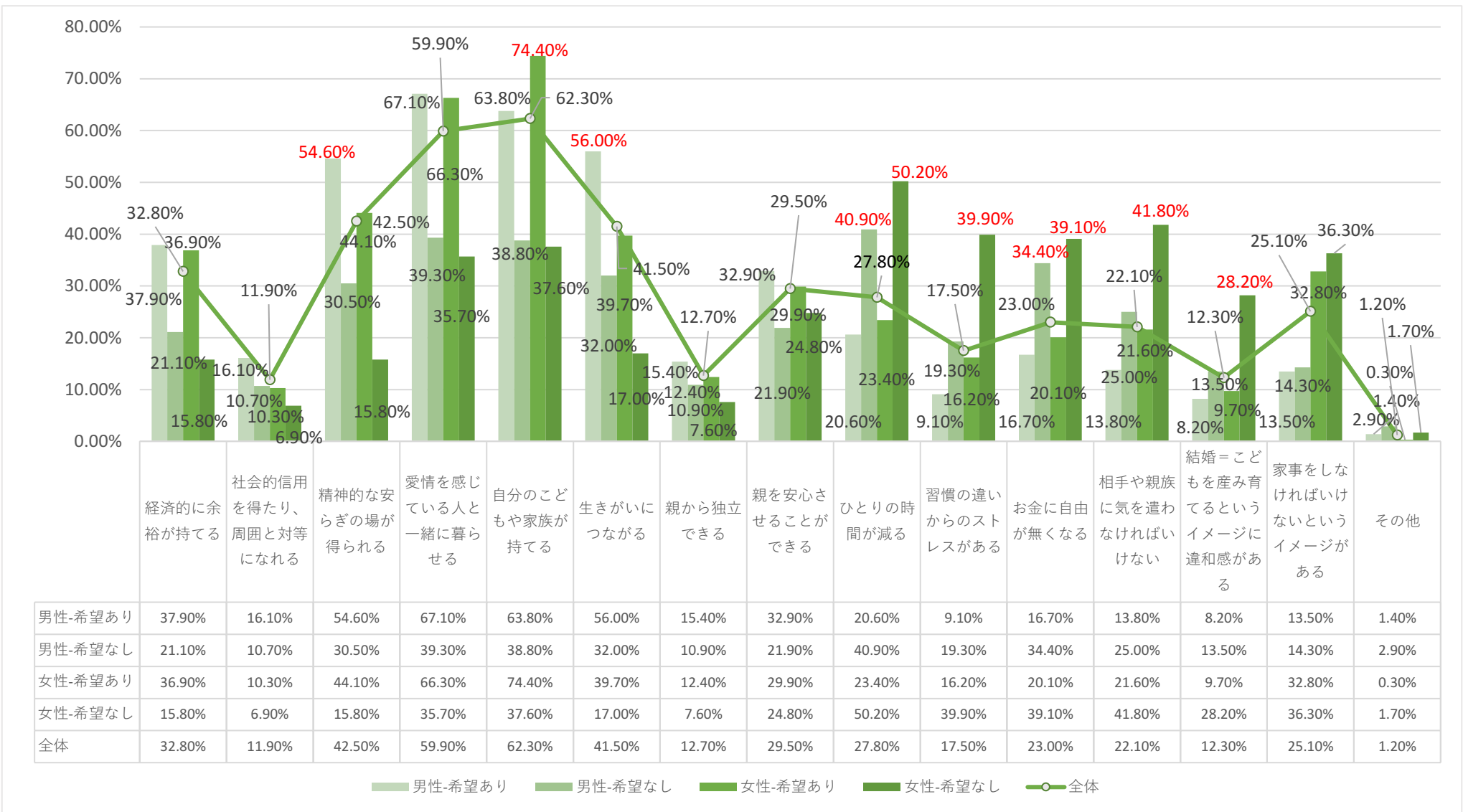
「将来、結婚して子どもを持たず仕事を続ける」ことを希望している女性は、結婚に対するイメージとして「ひとりの時間が減る」「習慣の違いからのストレスがある」「お金の自由が無くなる」「相手や親族に気を遣わなければいけない」「結婚＝子どもを産み育てるというイメージに違和感がある」「家事をしなければいけないというイメージがある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(女性)・Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=49$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=60.2$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「お金の自由が無くなる」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=36.6$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=39.3$ 自由度=4 $p<0.001$
 Q1性別(女性)・Q18希望するライフスタイル×Q15結婚に対するイメージ「結婚＝子どもを産み育てるというイメージに違和感がある」 (※表は一部抜粋) $\chi^2=135.3$ 自由度=4 $p<0.001$

表44 男性×結婚希望ありor希望なし、女性×結婚希望ありor希望なし×結婚に対するイメージ

将来結婚を希望している男性は、結婚に対するイメージとして「精神的な安らぎの場が得られる」「生きがいにつながる」というイメージを、女性は「自分の子どもや家族が持てる」というイメージを持つ人が多い傾向。結婚を希望していない人は、男女とも「ひとりの時間が減る」「お金に自由が無くなる」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。さらに女性は「習慣の違いからのストレスがある」「相手や親族に気を遣わなければいけない」「結婚＝子どもを産み育てる」というイメージに違和感がある」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。



Q1性別(男性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「精神的な安らぎの場が得られる」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=67.8$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(男性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「生きがいにつながる」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=67$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(男性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=64.5$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(男性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「お金の自由が無くなる」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=56.1$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(女性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「自分の子どもや家族が持てる」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=221$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(女性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「ひとりの時間が減る」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=129.3$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(女性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「習慣の違いからのストレスがある」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=123.6$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(女性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「お金の自由が無くなる」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=72.9$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(女性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「相手や親族に気を遣わなければいけない」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=76.2$ 自由度=1 $p<0.001$
Q1性別(女性)・Q10結婚希望×Q15結婚に対するイメージ「結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある」	(※表は一部抜粋)	$\chi^2=106.4$ 自由度=1 $p<0.001$

表45 女性×大学・短大・高専（大学院含む）生×結婚に繋がる出会いのシーン

大学・短大・高専（大学院含む）生の女性は、結婚に繋がる出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「家族、知人の紹介」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

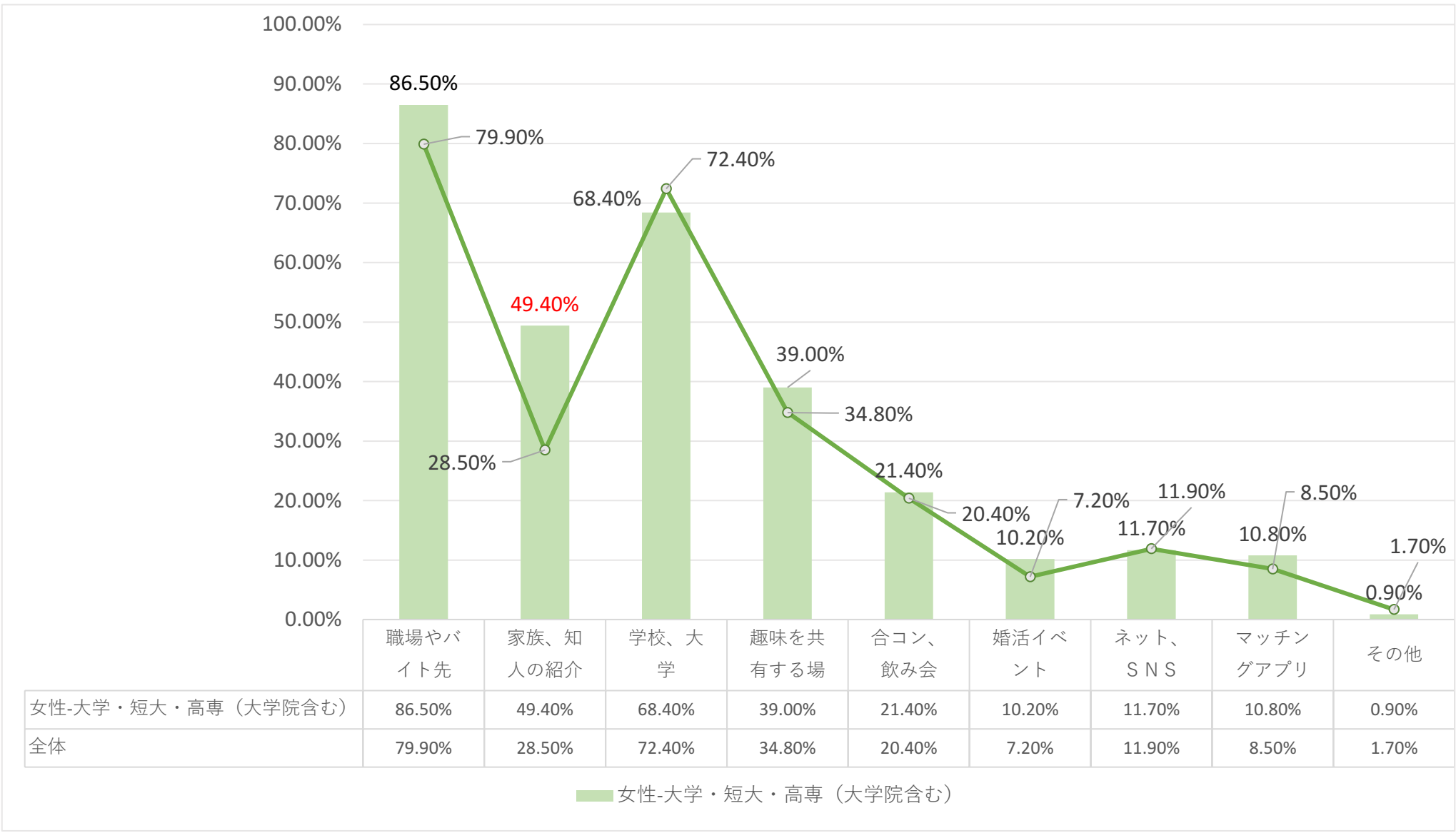


表46 女性×熊本市在住×結婚に繋がる出会いのシーン

熊本市在住の女性は、結婚に繋がる出会いのシーンとして「職場やバイト先」を最も多く回答。また、「家族、知人の紹介」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

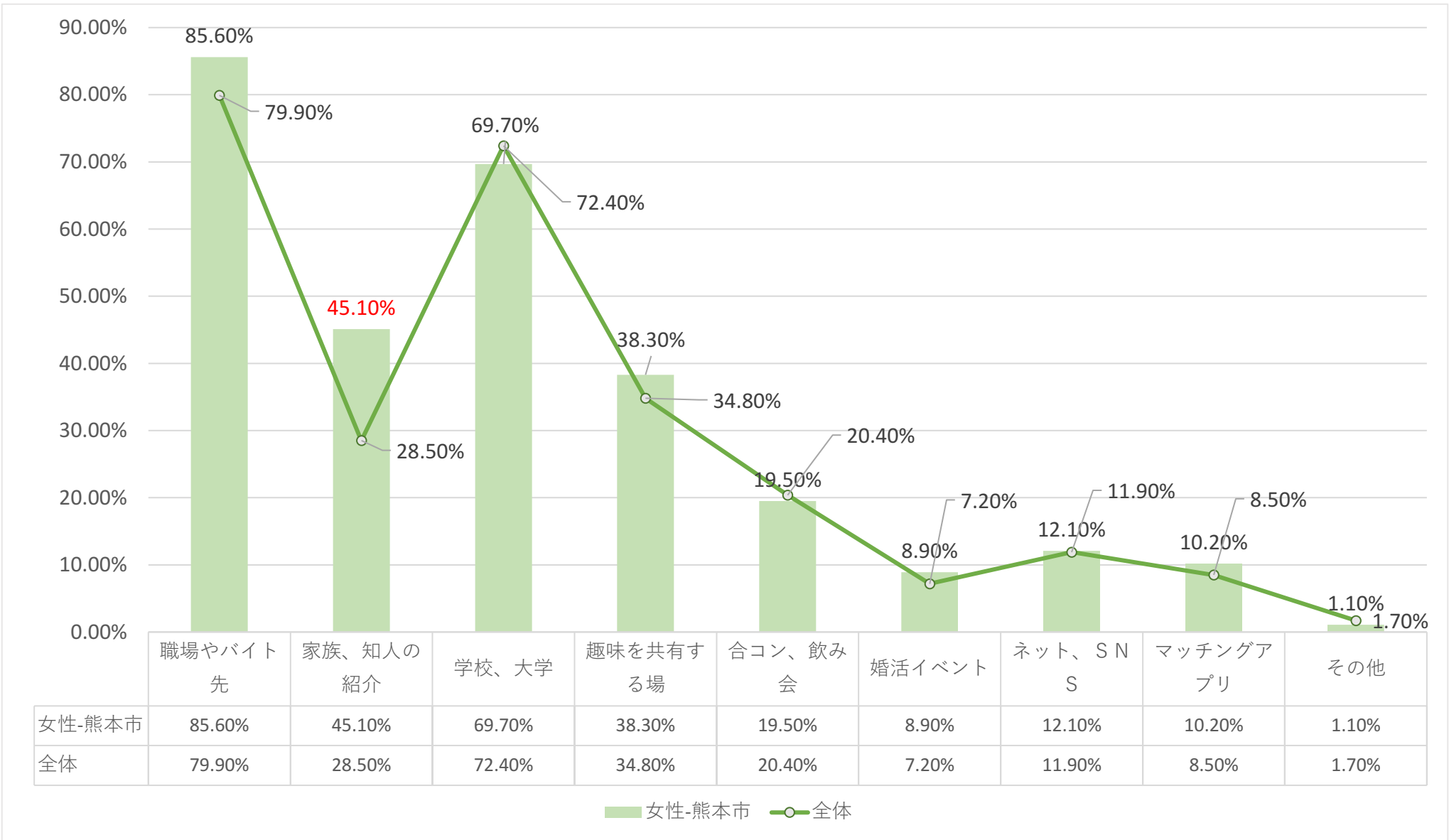


表47 女性×高校生×希望するライフスタイル

高校生の女性は、希望するライフスタイルとして「結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする」への回答が全体の回答と比較して多い傾向。

